

伊那市
男女共同参画についてのアンケート調査
調査結果報告書

平成 27 年 10 月

伊 那 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
(2)	用語の認知度について	11
(3)	男女の平等感について	19
(4)	家庭における男女の役割分担意識について	29
(5)	仕事と生活のバランスについて	33
(6)	高齢者等が安心して暮らせる環境について	43
(7)	女性に対するあらゆる暴力の根絶について	45
(8)	防災における女性の関わりについて	48
(9)	社会における参画について	50

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の意識や考え方を把握し、今後の市政に対する市民ニーズを明らかにするとともに、本市で今後実施する施策の方向性など、さまざまな検討を行う際の基礎資料として活用するために、調査を実施するものです。

2 調査対象

市内に住んでいる 20 歳以上の男女各 1,000 人（計 2,000 人）を年代別に均等に抽出

3 調査期間

平成 27 年 7 月 30 日から平成 27 年 8 月 12 日


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配 布 数	有効回収数	有効回収率
2,000 通	621 通	31.1%

6 調査結果の表示方法

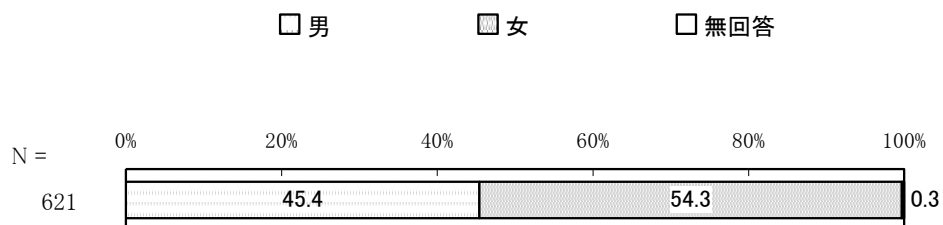
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

(1) 回答者属性

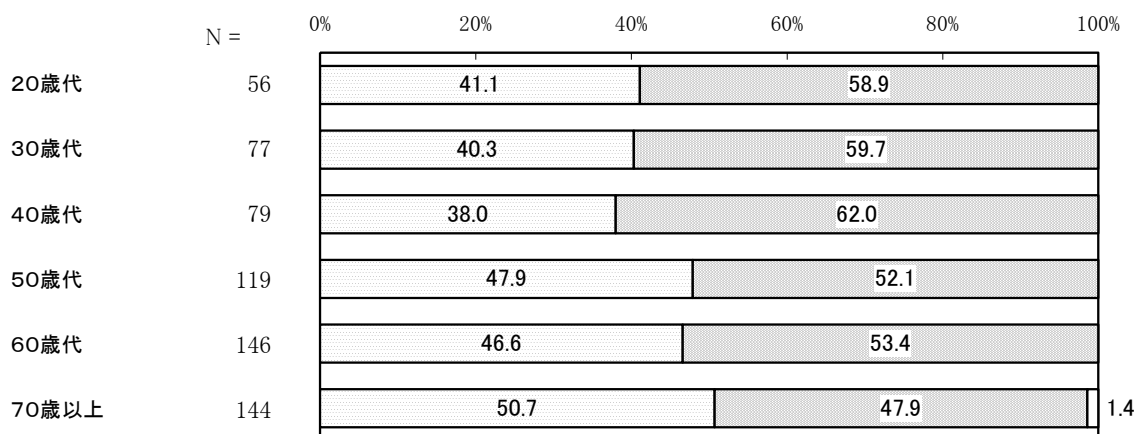
問1 あなたの性別をお答えください。

「男」の割合が45.4%、「女」の割合が54.3%となっています。



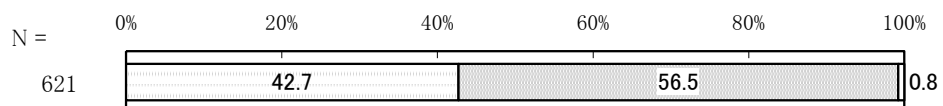
【年齢別】

年齢別でみると、50歳代以上で「男」の割合が高くなっています。



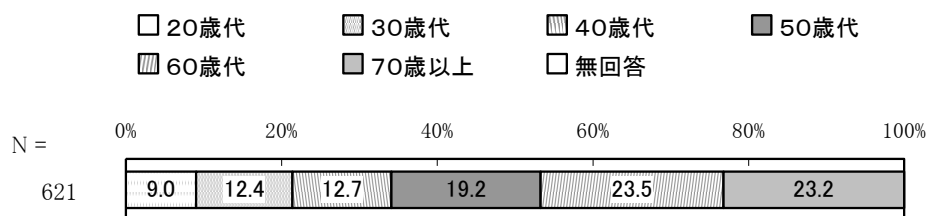
【前回調査】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



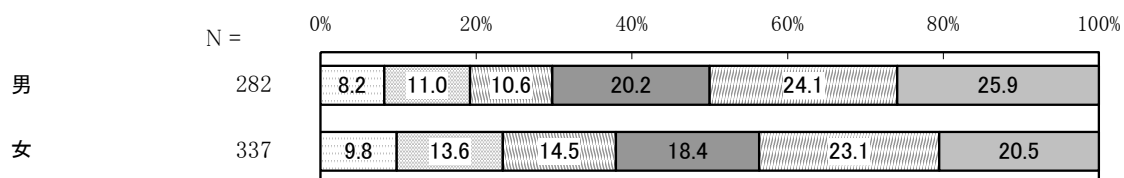
問2 あなたの年齢は何歳ですか。

「60歳代」の割合が23.5%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が23.2%、「50歳代」の割合が19.2%となっています。



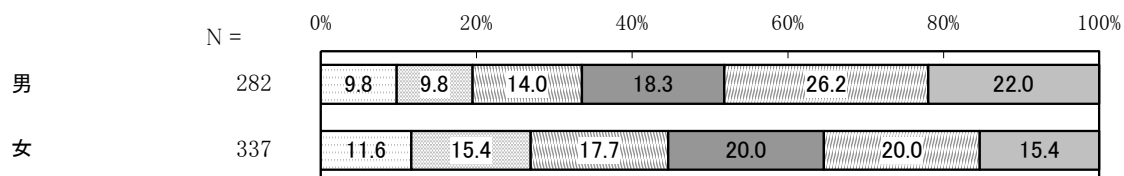
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



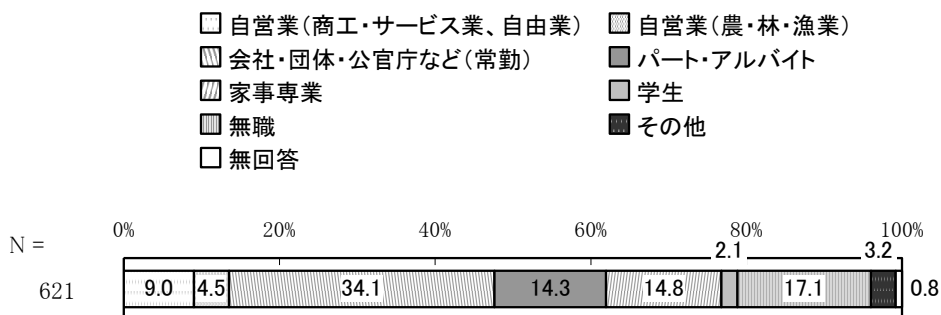
【前回調査】

前回調査と比較すると、女性で「70歳以上」の割合が増加しています。



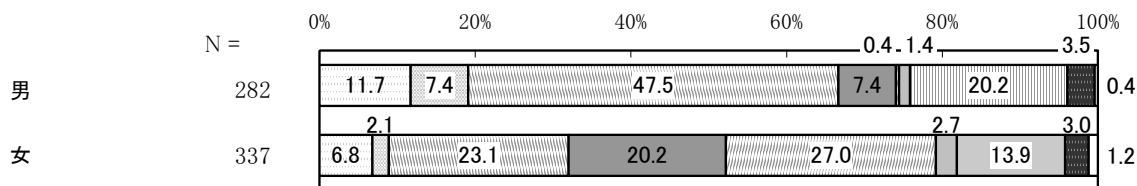
問3 あなたの主たる職業を1つ選んでください。

「会社・団体・公官庁など(常勤)」の割合が34.1%と最も高く、次いで「無職」の割合が17.1%、「家事専業」の割合が14.8%となっています。



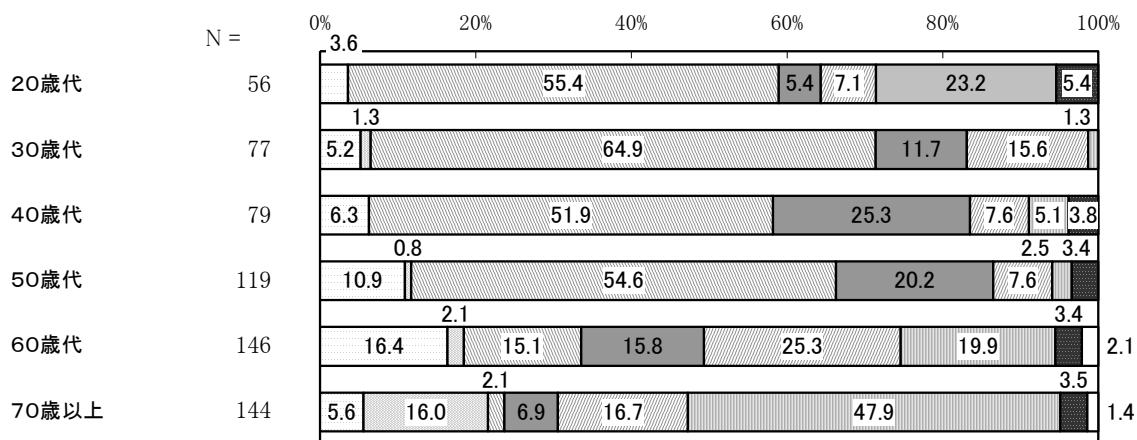
【性別】

性別でみると、女性より男性で「自営業(農・林・漁業)」「会社・団体・公官庁など(常勤)」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「パート・アルバイト」「家事専業」の割合が高くなっています。



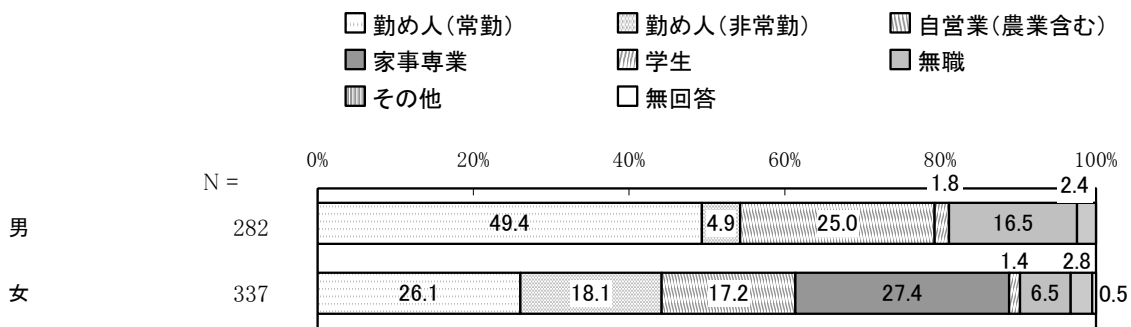
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代から50歳代で「会社・団体・公官庁など(常勤)」の割合が高くなっています。



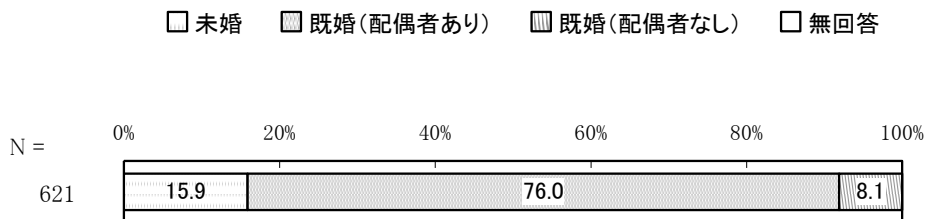
【前回調査】

選択肢が異なるため、参考にとどめます。



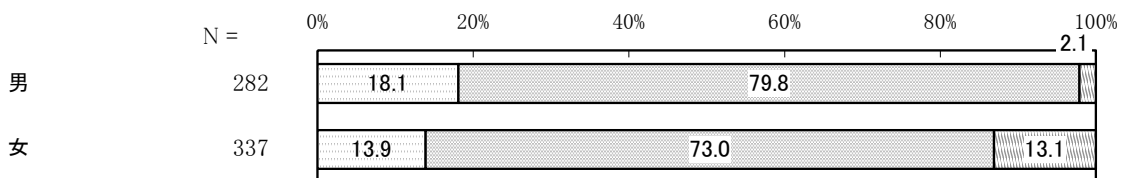
問4 あなたの結婚状況についてお答えください。

「既婚（配偶者あり）」の割合が76.0%と最も高く、次いで「未婚」の割合が15.9%となっています。



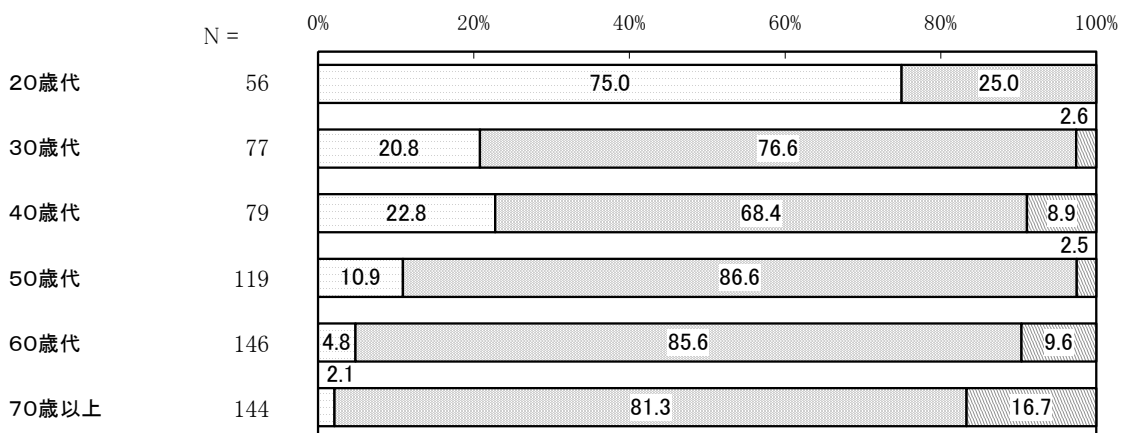
【性別】

性別でみると、女性より男性で「既婚（配偶者あり）」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「既婚（配偶者なし）」の割合が高くなっています。



【年齢別】

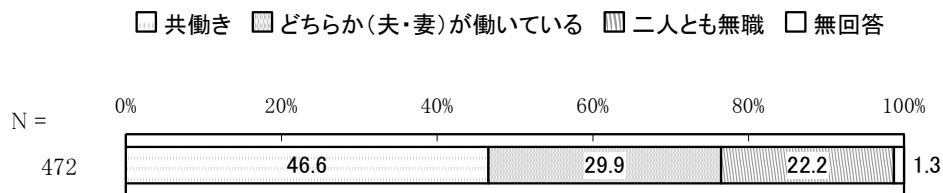
年齢別でみると、20歳代で「未婚」の割合が高くなっています。



問5 2の既婚者の方にお聞きします。

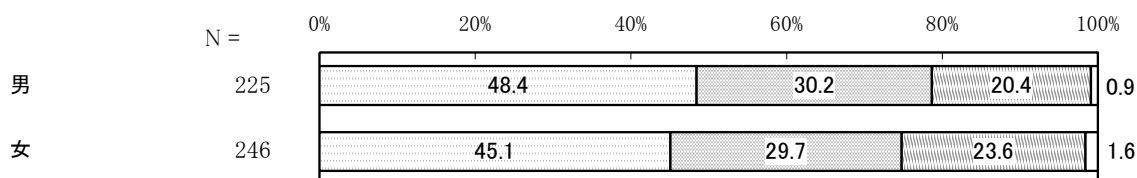
(1) 夫婦の就業形態についてお答えください。

「共働き」の割合が46.6%と最も高く、次いで「どちらか(夫・妻)が働いている」の割合が29.9%、「二人とも無職」の割合が22.2%となっています。



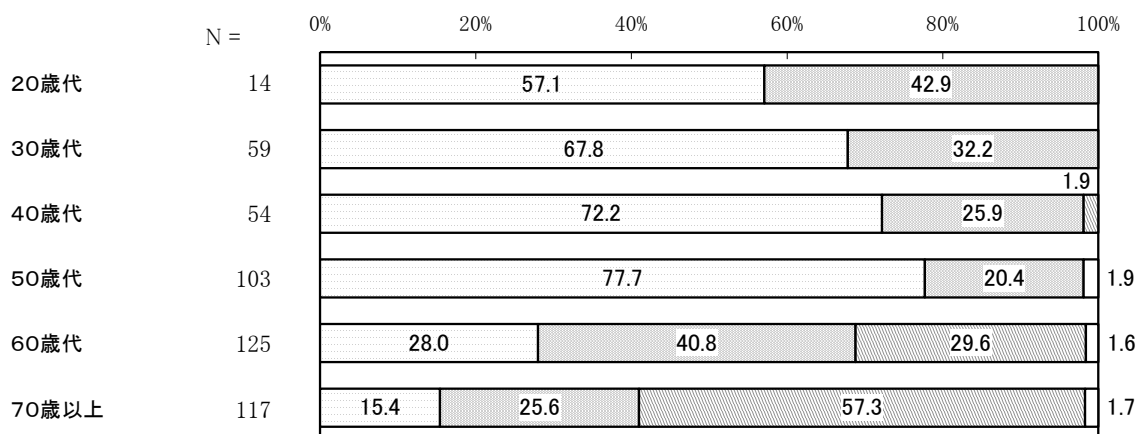
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



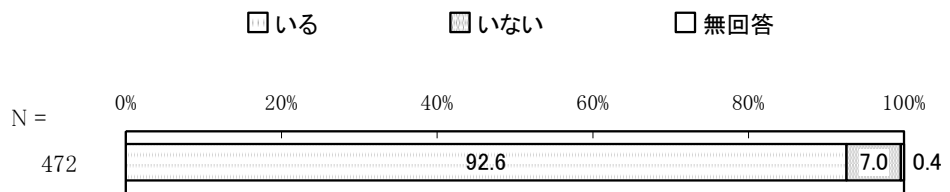
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「共働き」の割合が低くなっています。



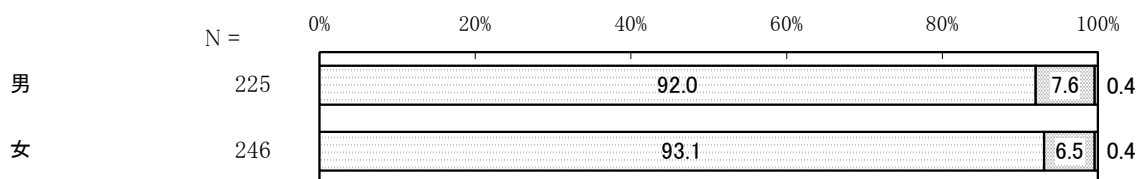
(2) お子さんはいらっしゃいますか？

「いる」の割合が92.6%、「いない」の割合が7.0%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



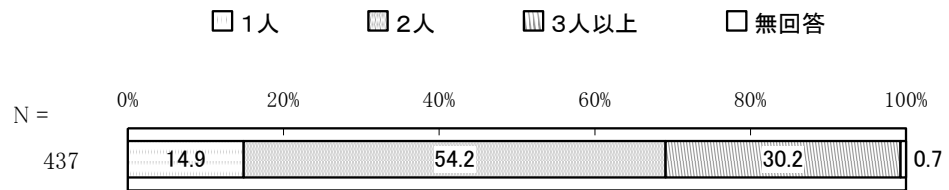
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「いない」の割合が高くなっています。



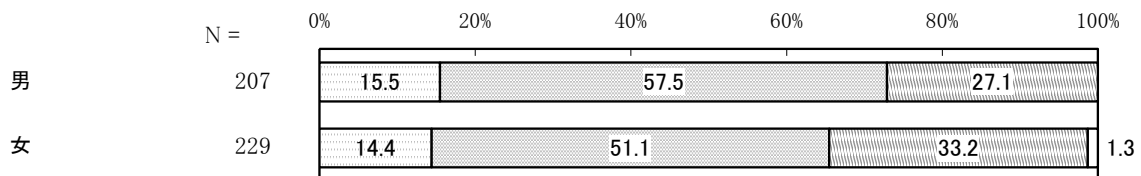
(3) (2) で 「いる」と答えた方にお聞きします。お子さんは何人いらっしゃいますか？

「2人」の割合が54.2%と最も高く、次いで「3人以上」の割合が30.2%、「1人」の割合が14.9%となっています。



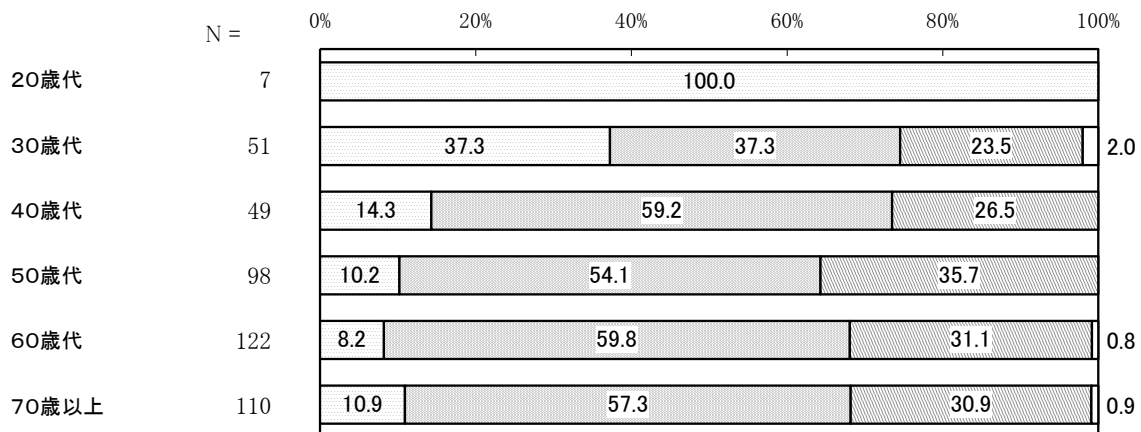
【性別】

性別でみると、女性より男性で「2人」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「3人以上」の割合が高くなっています。



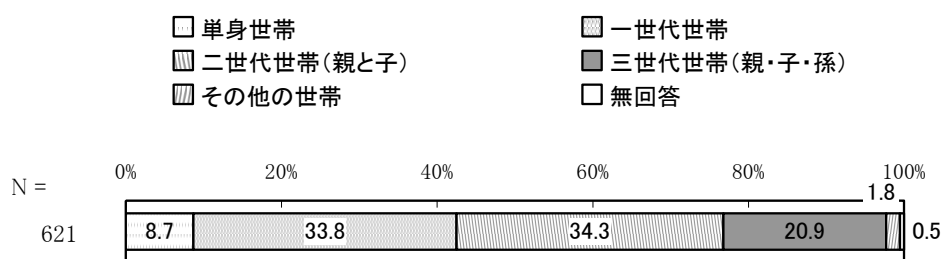
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「1人」の割合が高く、「2人」の割合が低くなっています。



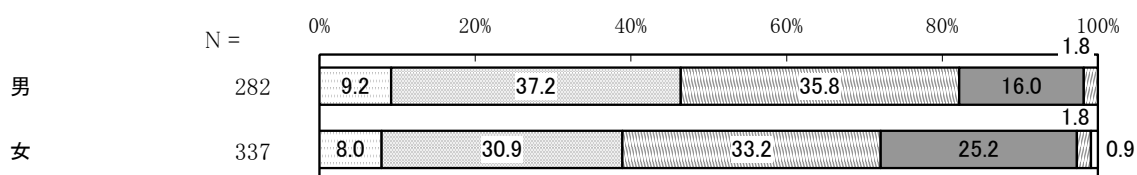
問6 あなたの家族（同居）構成についてお答えください。

「二世代世帯（親と子）」の割合が34.3%と最も高く、次いで「一世代世帯」の割合が33.8%、「三世代世帯（親・子・孫）」の割合が20.9%となっています。



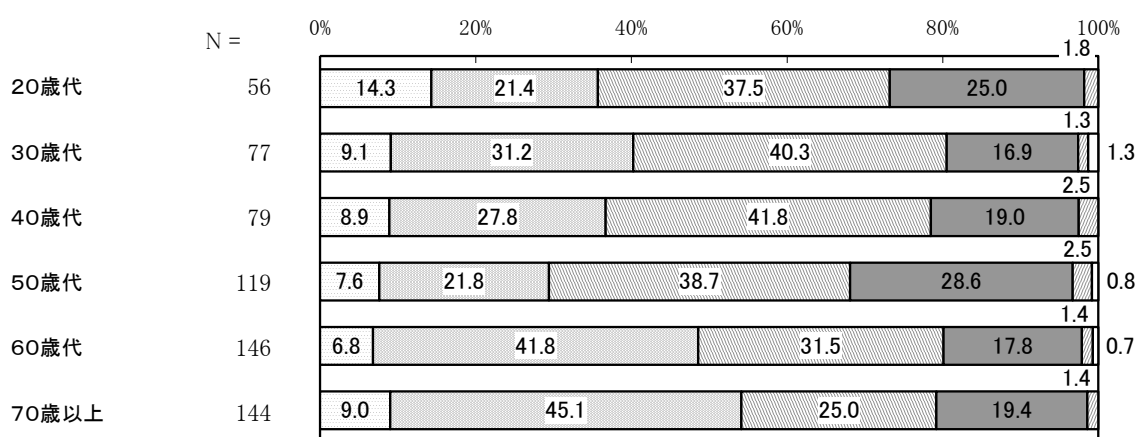
【性別】

性別でみると、女性より男性で「一世代世帯」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「三世代世帯（親・子・孫）」の割合が高くなっています。



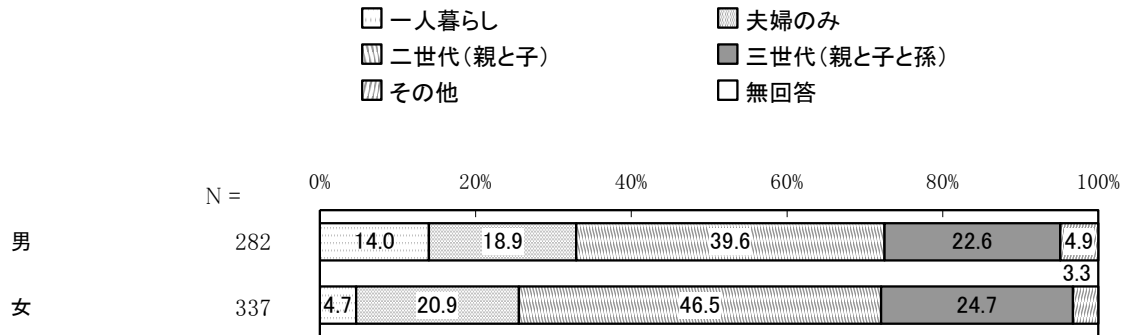
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「一世代世帯」の割合が高くなっています。



【前回調査】

前回調査と比較すると、男女ともに「一世代世帯」の割合が増加しています。また、男性で「三世代世帯（親・子・孫）」、女性で「二世代世帯（親と子）」の割合が減少しています。

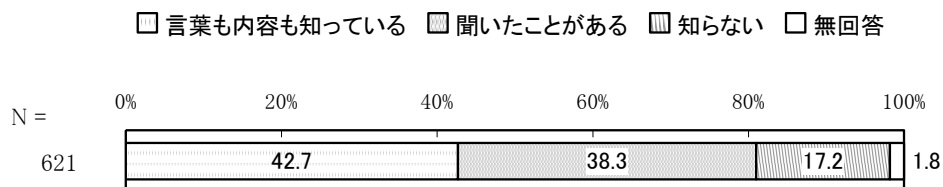


(2) 用語の認知度について

問7 男女共同参画に関する次の言葉や事がらについて、知っている、または聞いたことがありますか。それぞれ1つ選んでください。

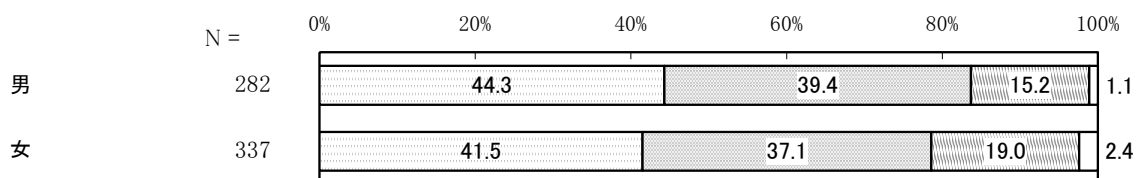
A 男女共同参画社会

「言葉も内容も知っている」の割合が42.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が38.3%、「知らない」の割合が17.2%となっています。



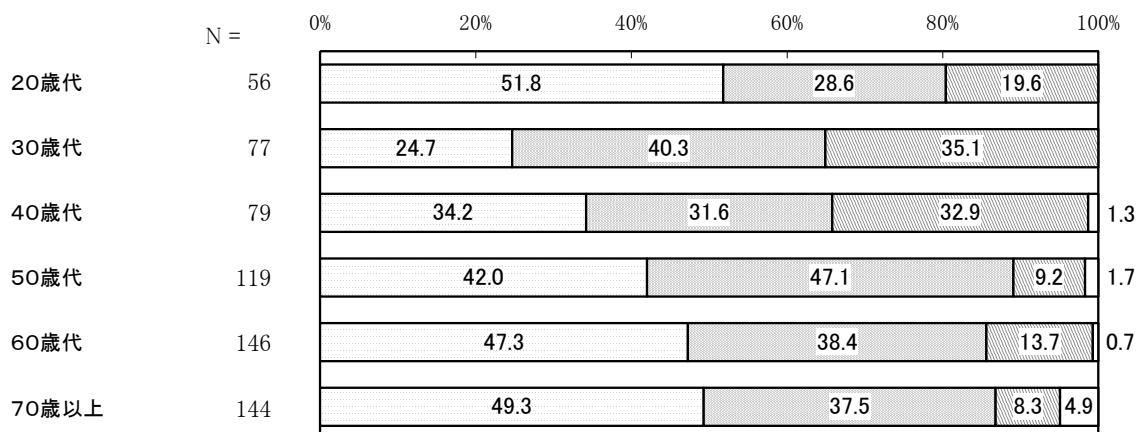
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



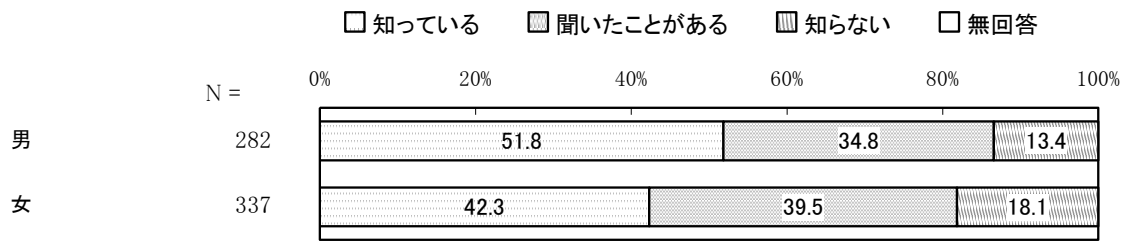
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「言葉も内容も知っている」の割合が低くなっています。一方、50歳代で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



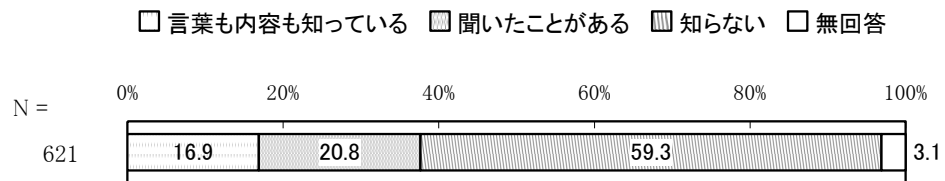
【前回調査】

前回調査と比較すると、男性で「言葉も内容も知っている」の割合が減少しています。



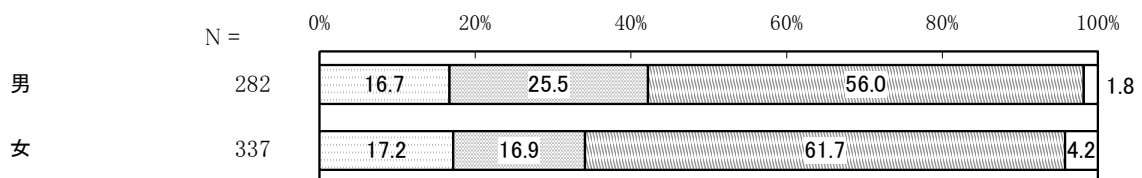
B ジェンダー

「知らない」の割合が59.3%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が20.8%、「言葉も内容も知っている」の割合が16.9%となっています。



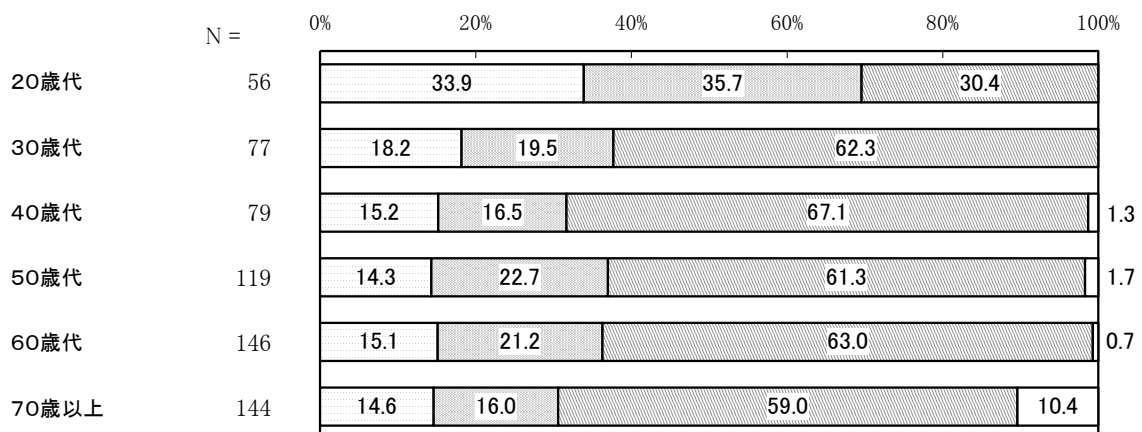
【性別】

性別でみると、女性より男性で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「知らない」の割合が高くなっています。



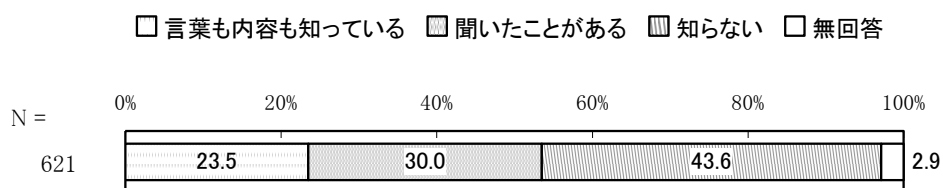
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「言葉も内容も知っている」「聞いたことがある」の割合が高くなっています。



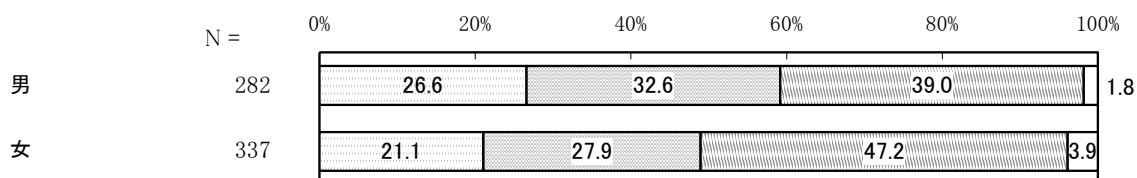
C ワーク・ライフ・バランス

「知らない」の割合が43.6%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が30.0%、「言葉も内容も知っている」の割合が23.5%となっています。



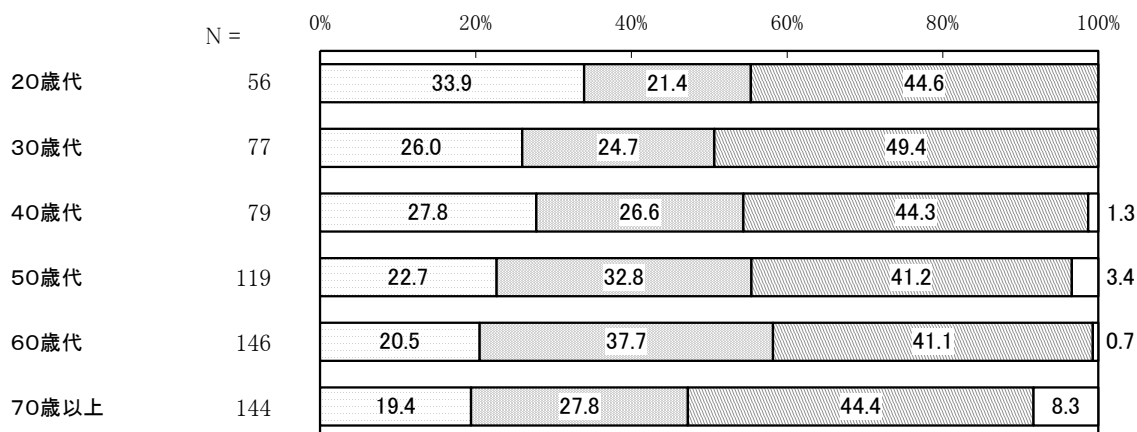
【性別】

性別で見ると、女性より男性で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「知らない」の割合が高くなっています。



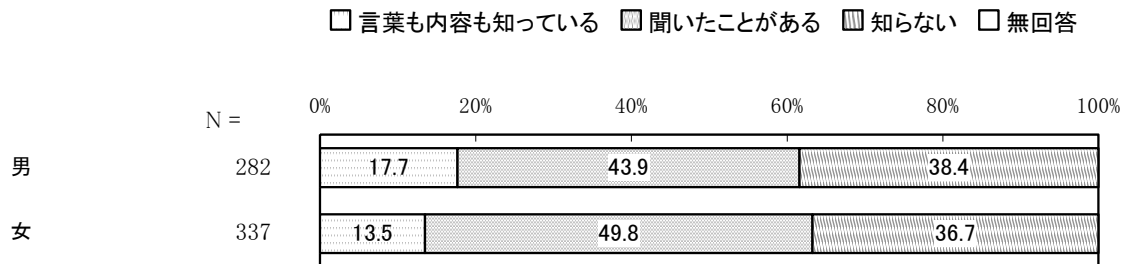
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。



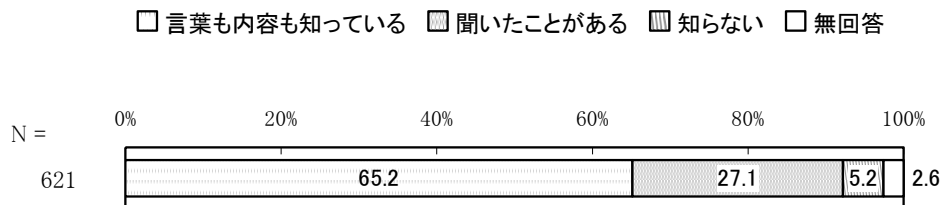
【前回調査】

前回調査と比較すると、男女ともに「言葉も内容も知っている」の割合が増加しています。女性で「知らない」の割合が増加しています。また、男女ともに「聞いたことがある」の割合が減少しています。



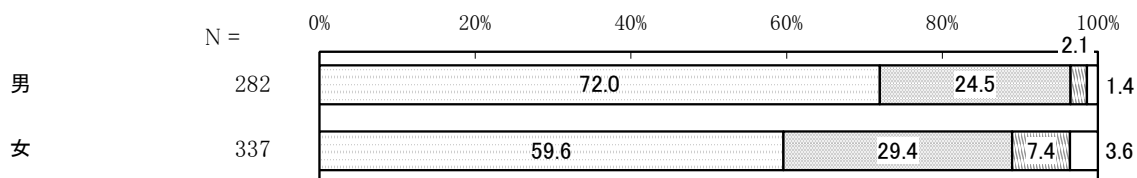
D 男女雇用機会均等法

「言葉も内容も知っている」の割合が65.2%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が27.1%となっています。



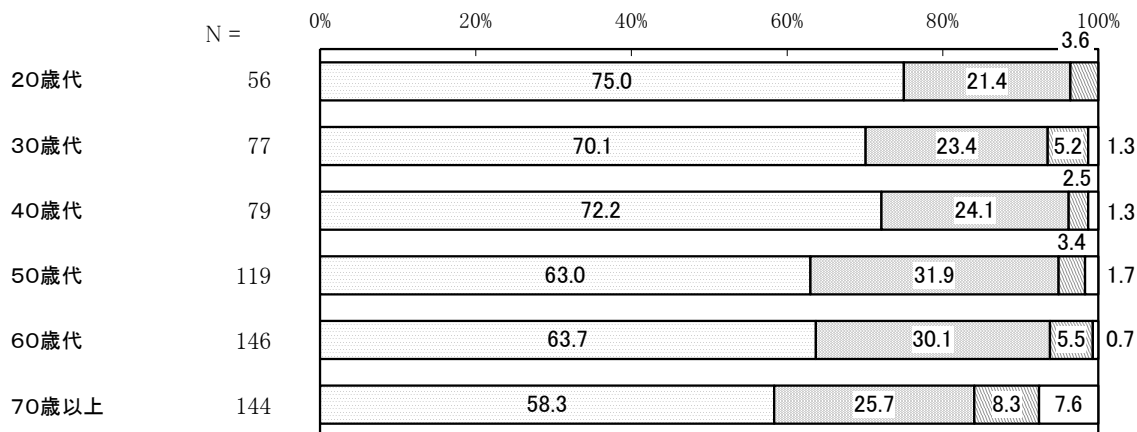
【性別】

性別で見ると、女性より男性で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「知らない」の割合が高くなっています。



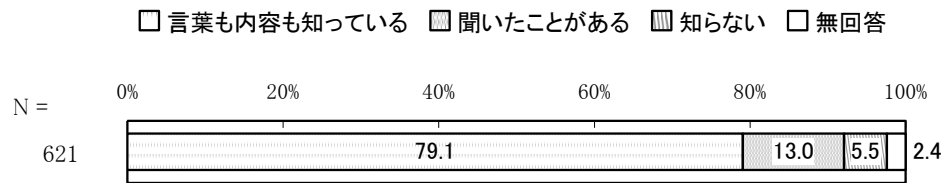
【年齢別】

年齢別で見ると、大きな差異はみられません。



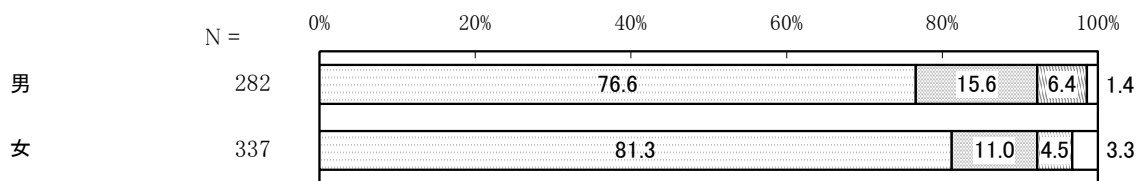
E DV

「言葉も内容も知っている」の割合が79.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が13.0%となっています。



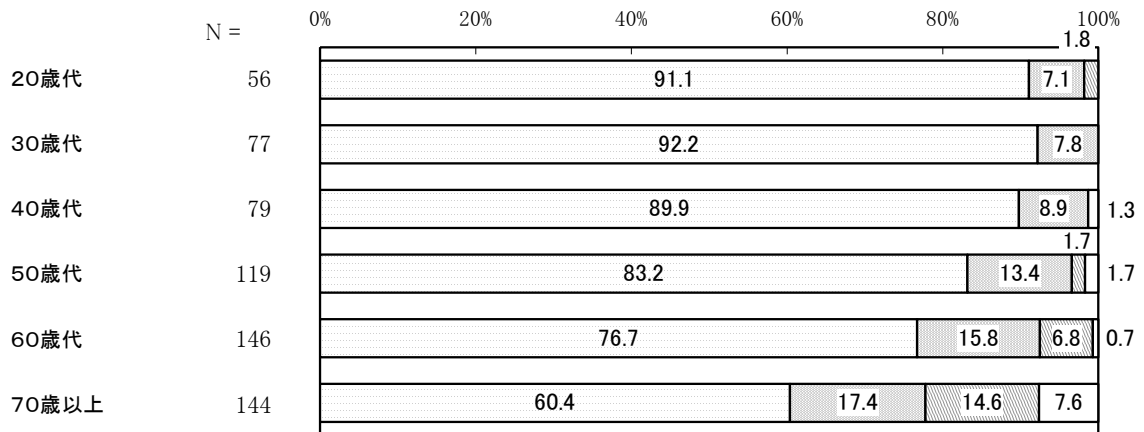
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



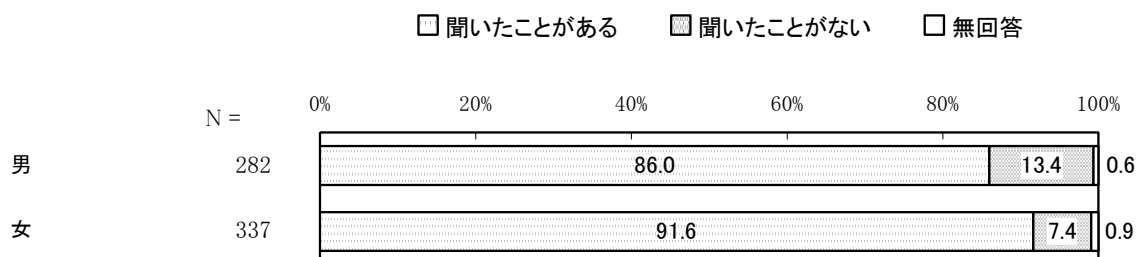
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「言葉も内容も知っている」の割合が低くなっています。



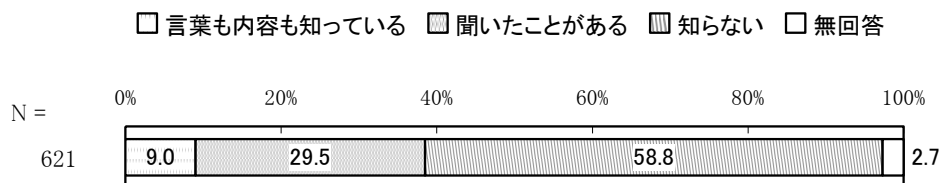
【前回調査】

選択肢が違うため、参考にとどめます。



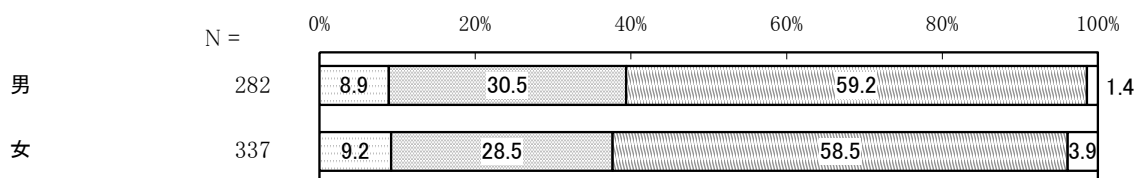
F ポジティブ・アクション

「知らない」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 29.5%となっています。



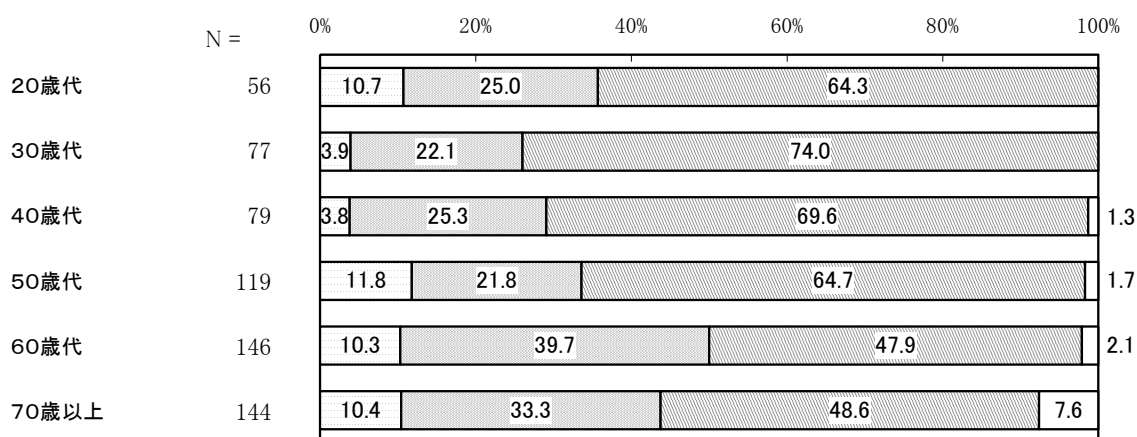
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代で「言葉も内容も知っている」の割合が低くなっています。一方、60歳代で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。

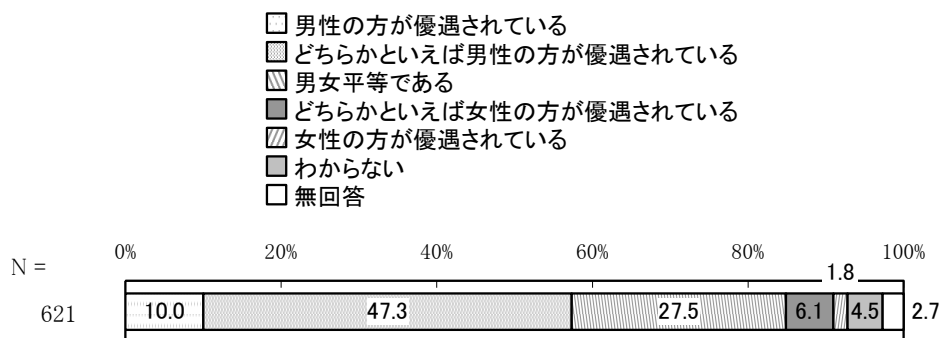


(3) 男女の平等感について

問8 あなたは次にあげるA～Hの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

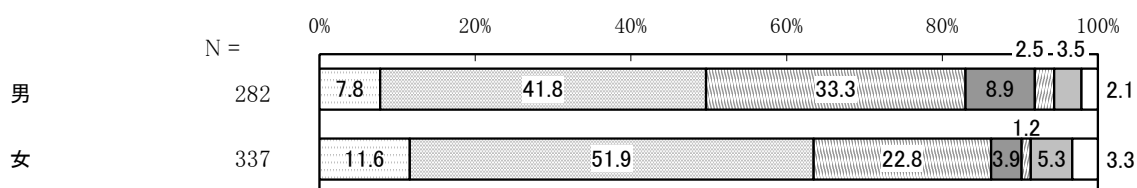
A 家庭生活

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が57.3%となっています。また、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性が優遇されている”の割合が7.9%となっています。



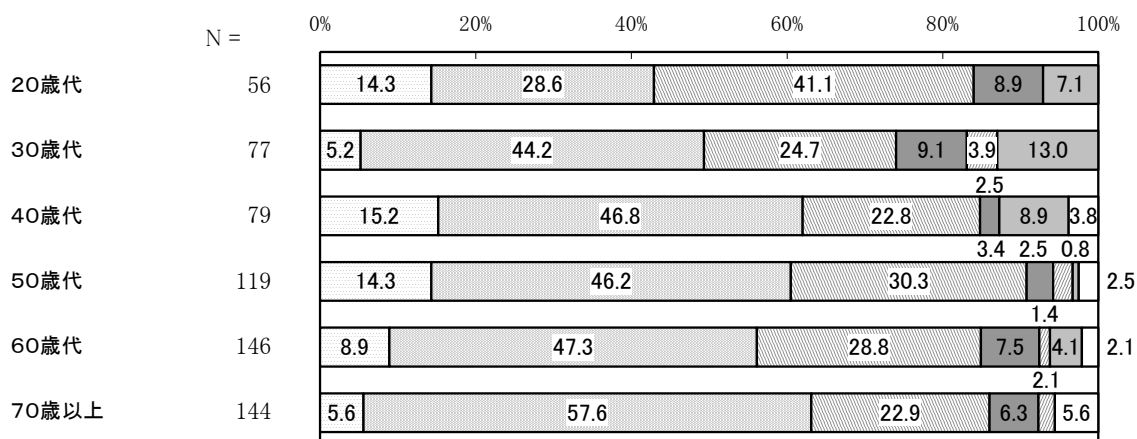
【性別】

性別で見ると、男性より女性で“男性のほうが優遇されている”の割合が高くなっています。



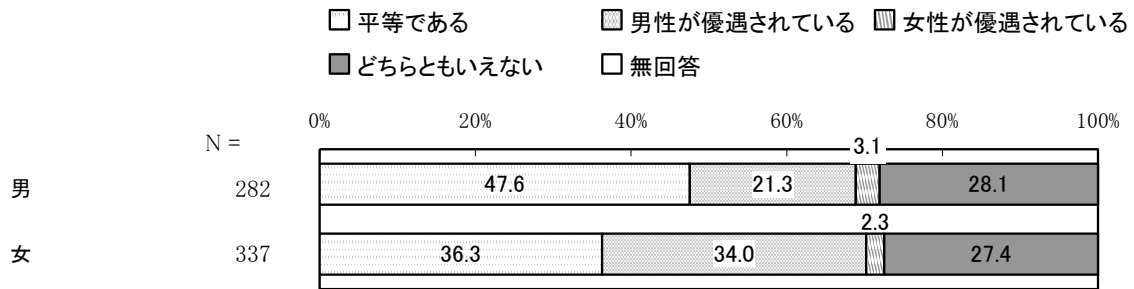
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「男女平等である」の割合が高くなっています。



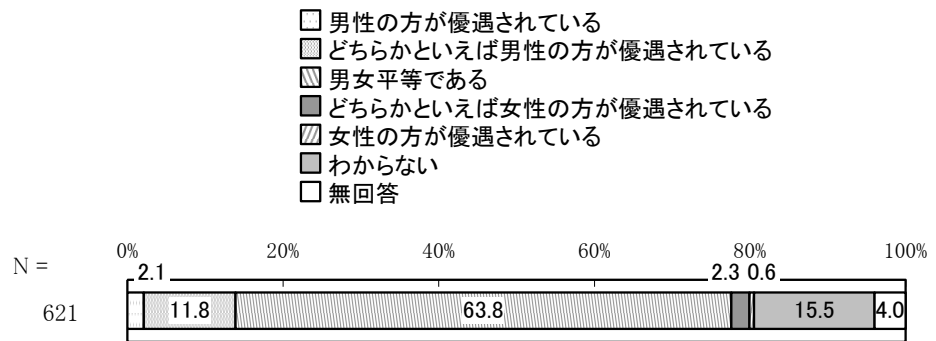
【前回調査】

選択肢が違うため、参考にとどめます。



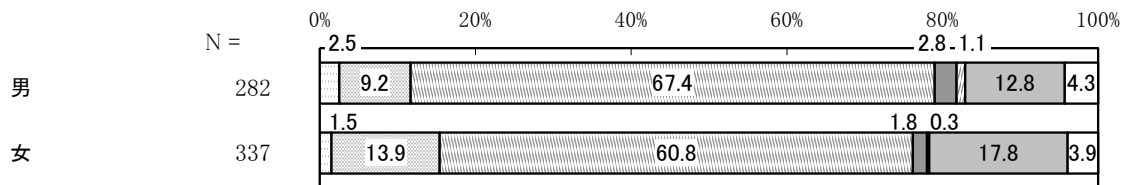
B 学校教育の場

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が 13.9% となっています。また、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性が優遇されている”の割合が 2.9% となっています。



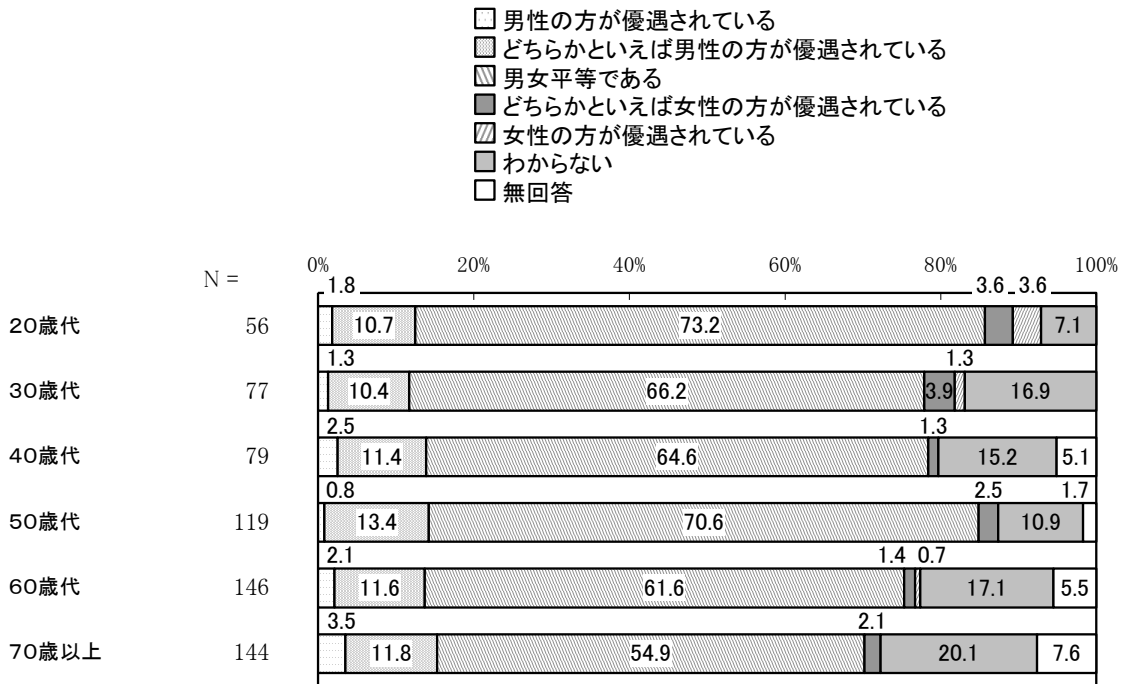
【性別】

性別で見ると、女性より男性で「男女平等である」の割合が高くなっています。



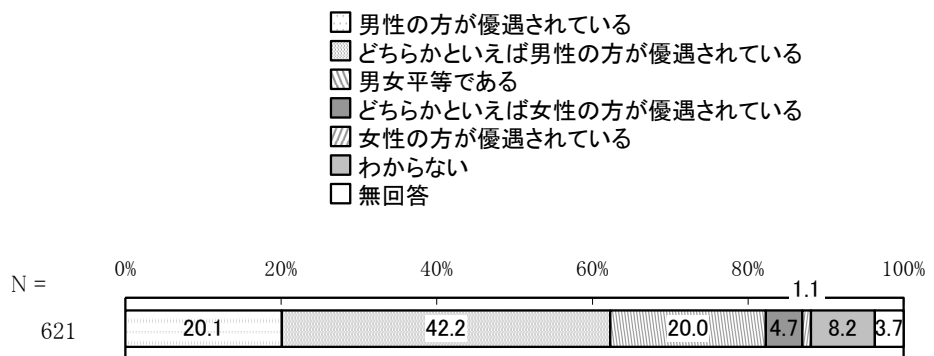
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代、50歳代で「男女平等である」の割合が高くなっています。



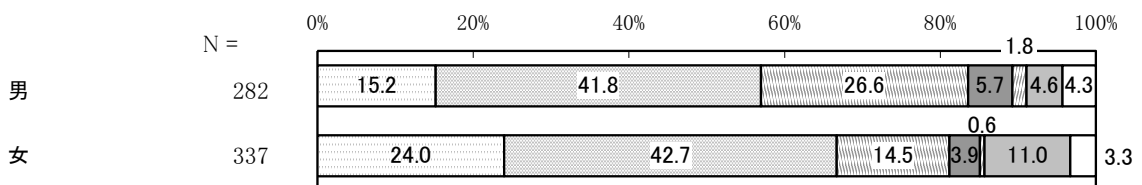
C 職場

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が62.3%となっています。また、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性が優遇されている”の割合が5.8%となっています。



【性別】

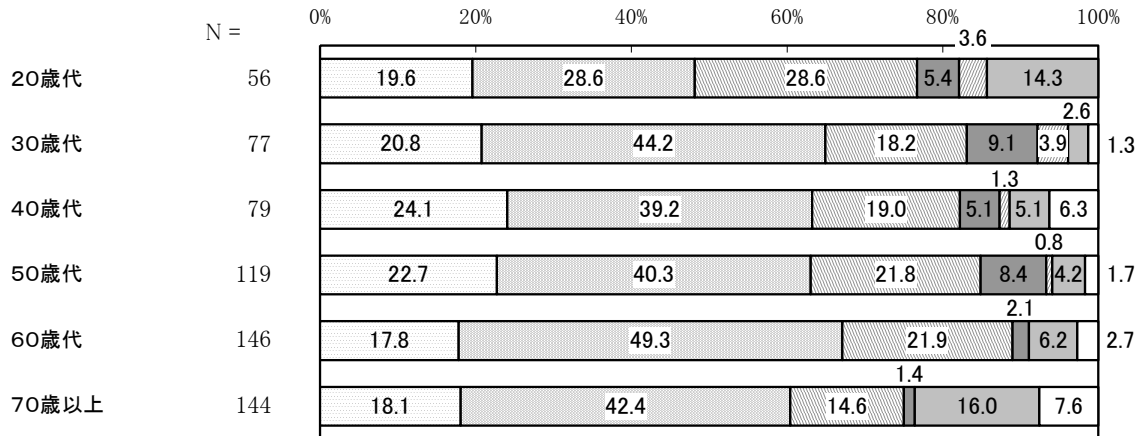
性別でみると、男性より女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。一方、女性より男性で「男女平等である」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で“男性の方が優遇されている”の割合が低くなっています。

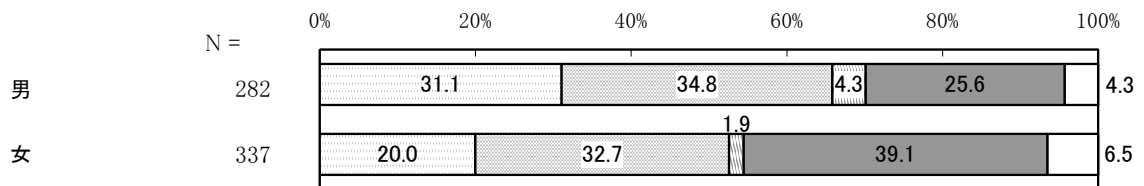
- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 男女平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答



【前回調査】

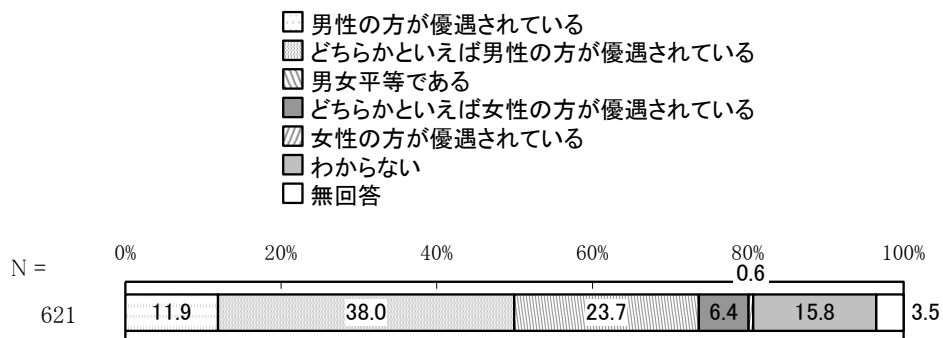
選択肢が違うため、参考にとどめます。

- 平等である
- 男性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- どちらともいえない
- 無回答



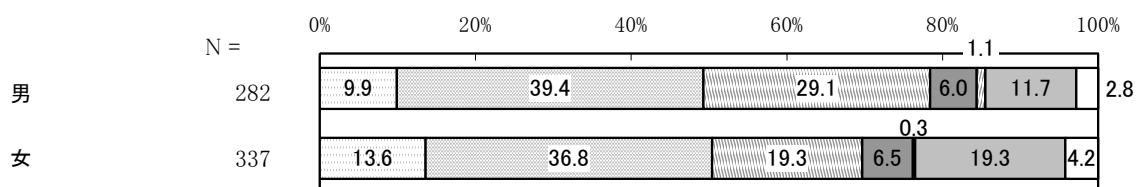
D 地域活動の場（自治会やNPOなど）

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が49.9%となっています。また、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性が優遇されている”の割合が7.0%となっています。



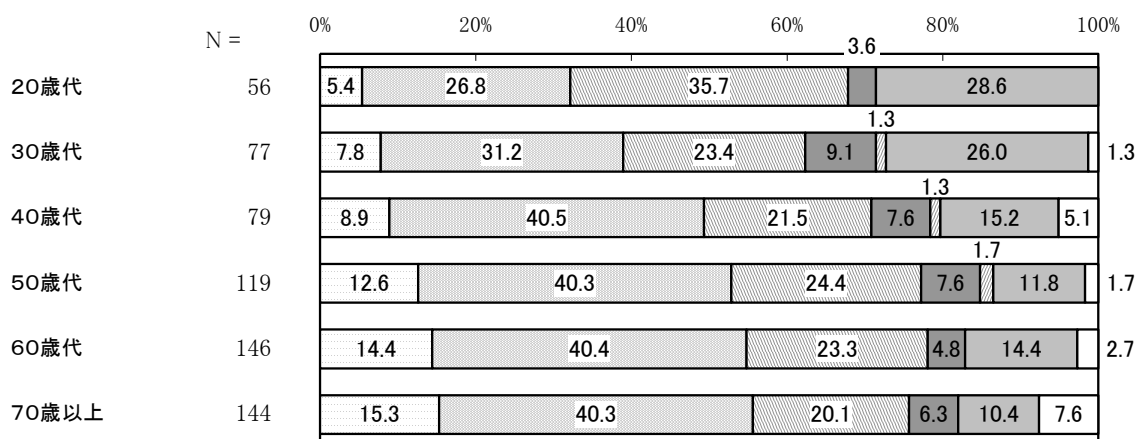
【性別】

性別でみると、女性より男性で「男女平等である」の割合が高くなっています。



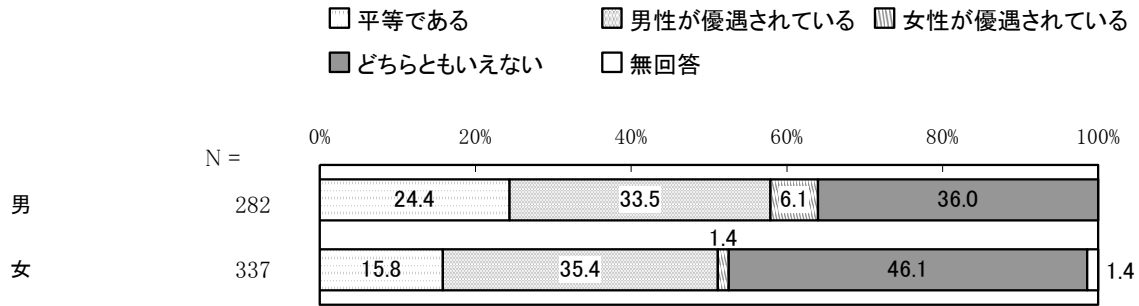
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で“男性が優遇されている”の割合が低くなっています



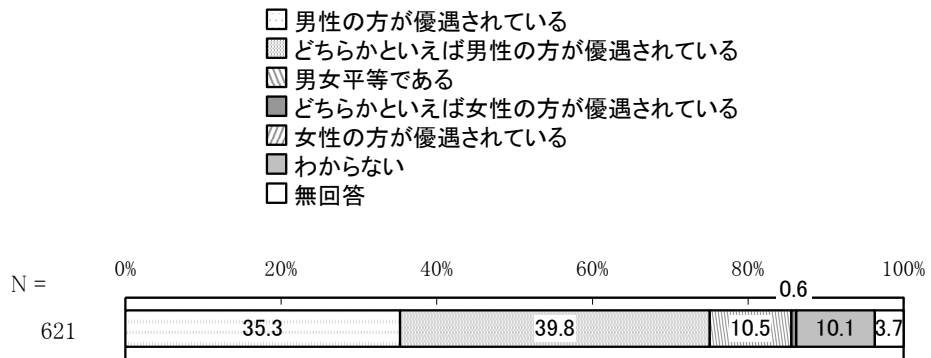
【前回調査】

選択肢が異なるため、参考にとどめます。



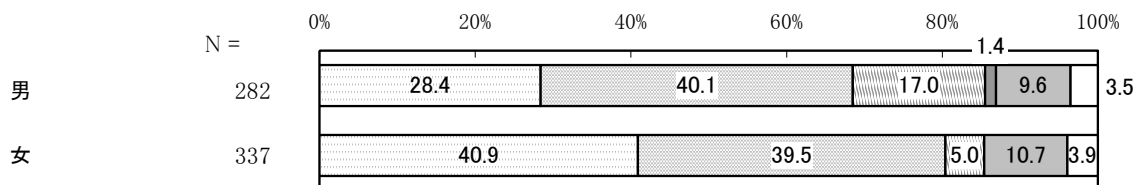
E 政治の場

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が75.1%となっています。また、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性が優遇されている”の割合が0.6%となっています。



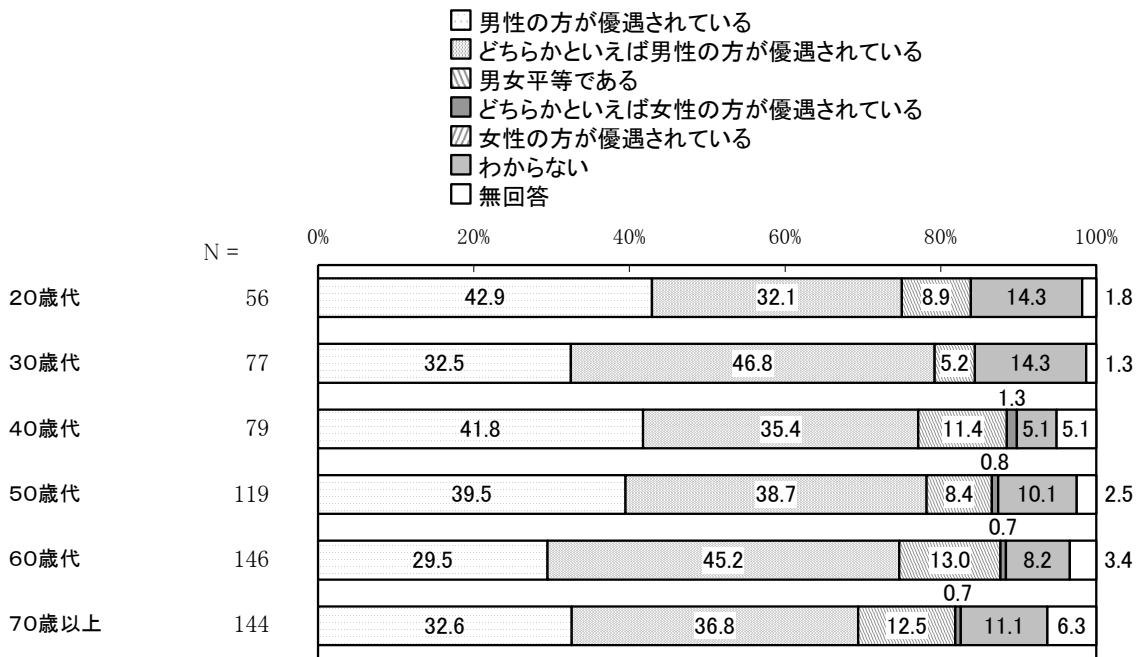
【性別】

性別でみると、男性より女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。一方、女性より男性で「男女平等である」の割合が高くなっています。



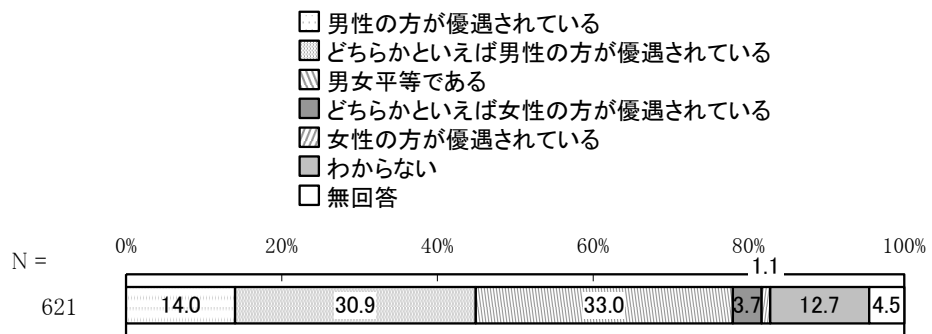
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“男性の方が優遇されている”の割合が低くなっています。



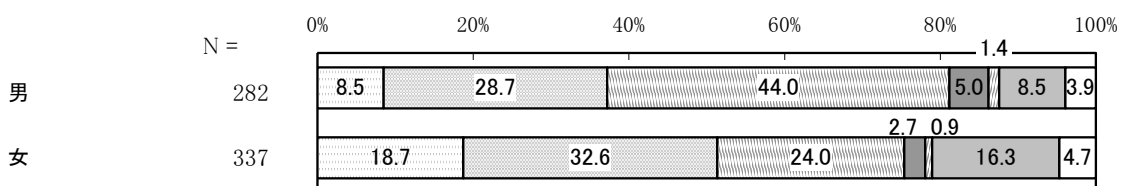
F 法律や制度の上

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が44.9%となっています。また、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性が優遇されている”の割合が4.8%となっています。



【性別】

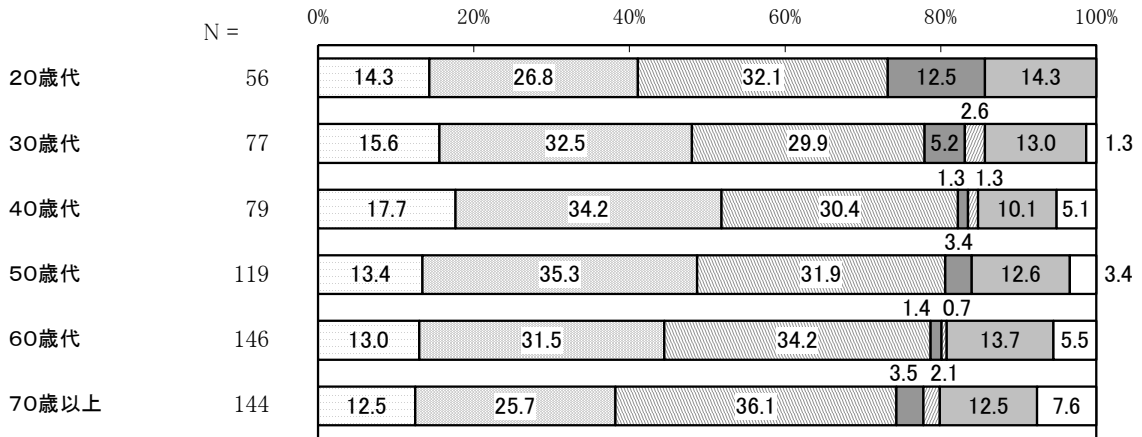
性別でみると、男性より女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。一方、女性より男性で「男女平等である」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

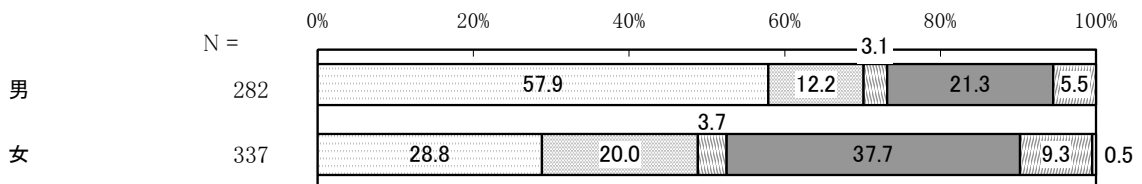
- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 男女平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答



【前回調査】

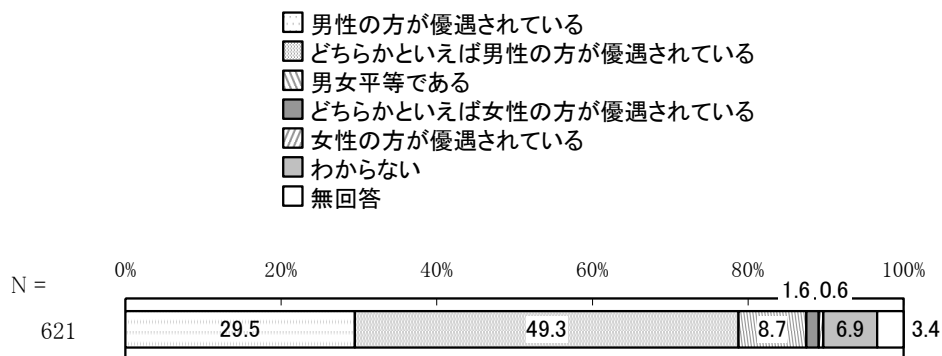
選択肢が違うため、参考にとどめます。

- 平等である
- 男性が優遇されている
- 女性が優遇されている
- どちらともいえない
- 無回答



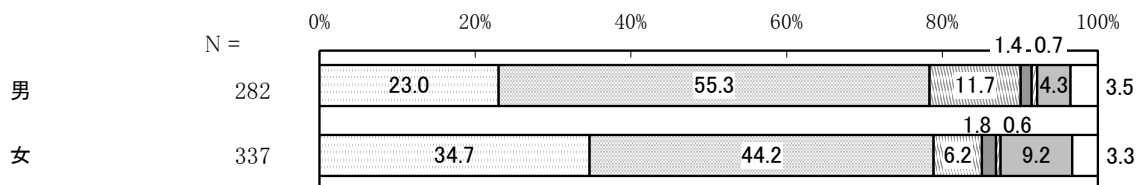
G 社会通念・慣習・しきたり

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が78.8%となっています。また、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性が優遇されている”の割合が2.2%となっています。



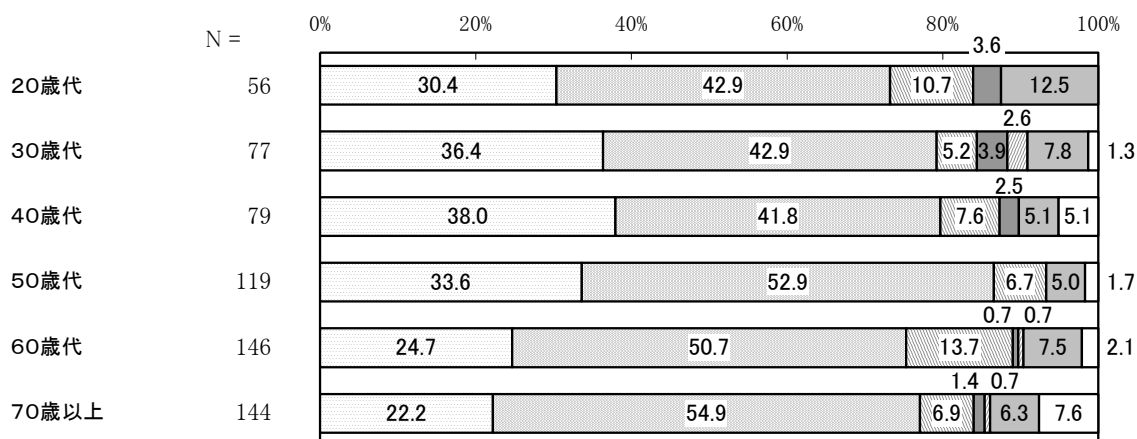
【性別】

性別でみると、女性より男性で「男女平等である」の割合が高くなっています。



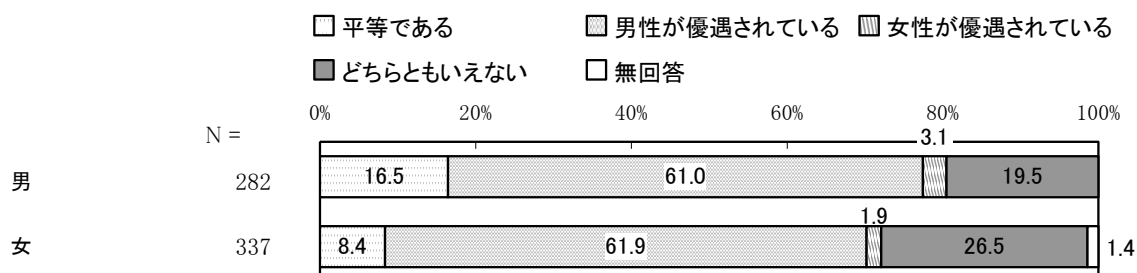
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



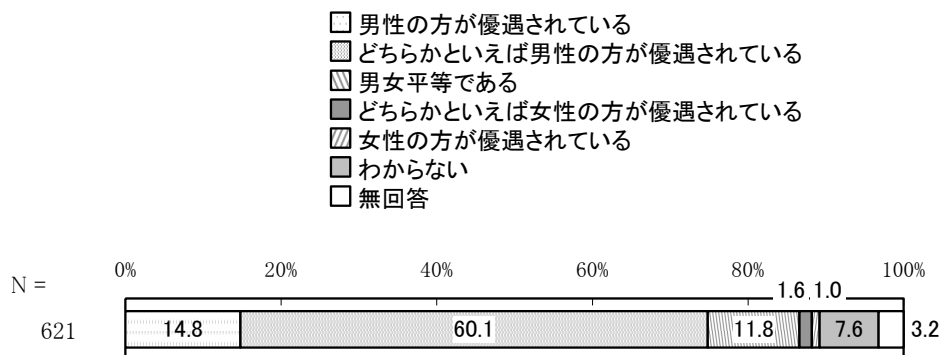
【前回調】

選択肢が違うため、参考にとどめます。



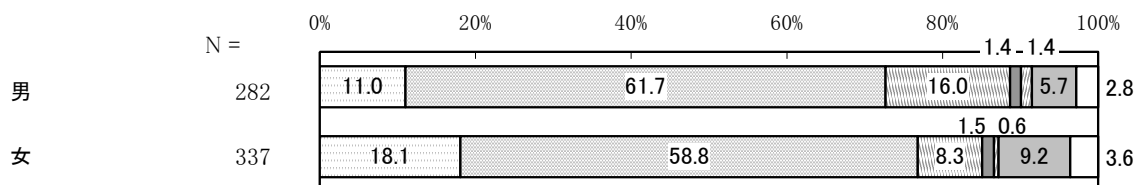
H 社会全体として

「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が74.9%となっています。また、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性が優遇されている”の割合が2.6%となっています。



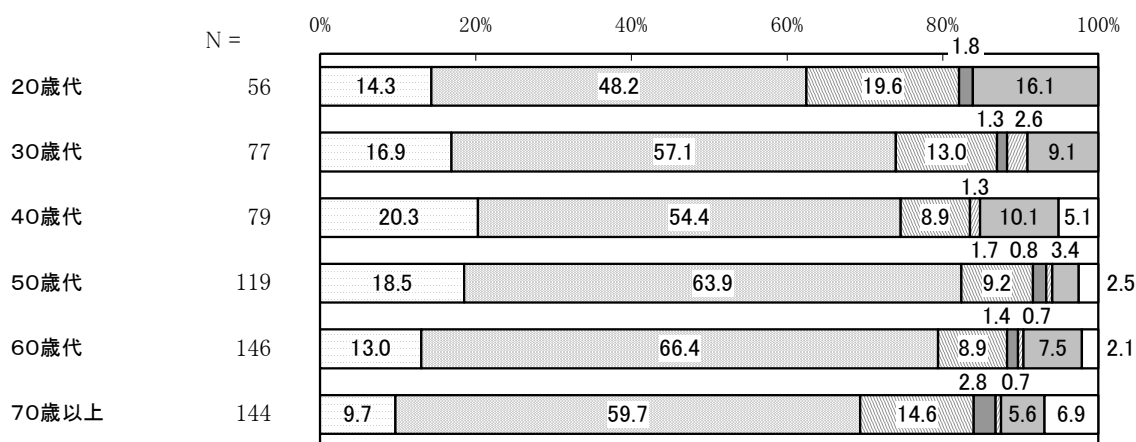
【性別】

性別でみると、女性より男性で「男女平等である」の割合が高くなっています。



【年齢別】

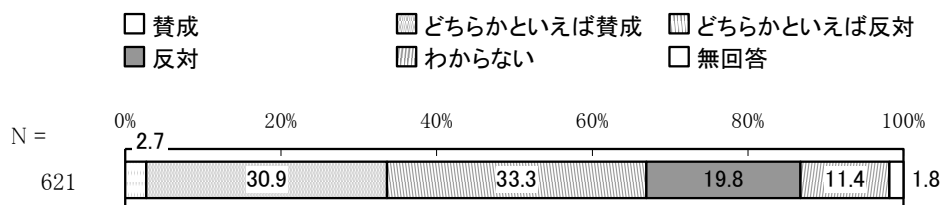
年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



(4) 家庭における男女の役割分担意識について

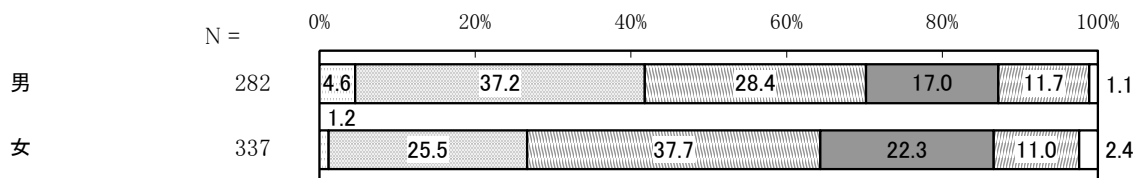
問9 「男は仕事・女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

「賛成」「どちらかといえば賛成」をあわせた“賛成”の割合が33.6%となっています。「どちらかといえば反対」「反対」をあわせた“反対”の割合が31.2%となっています。



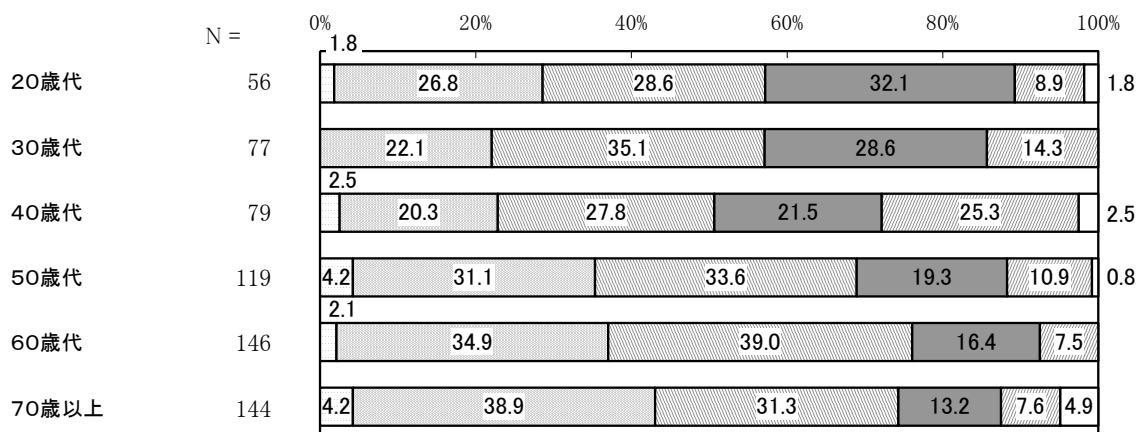
【性別】

性別でみると、女性より男性で“賛成”の割合が高くなっています。一方、男性より女性で“反対”の割合が高くなっています。



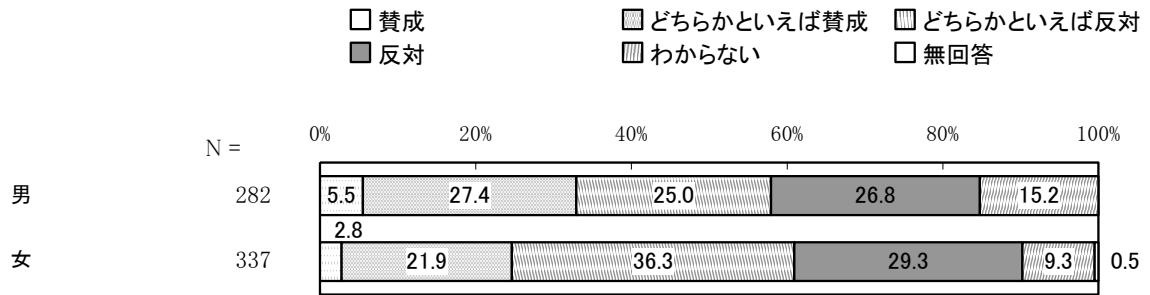
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代を除き、年齢が高くなるにつれ“賛成”の割合が高くなる傾向にあります。



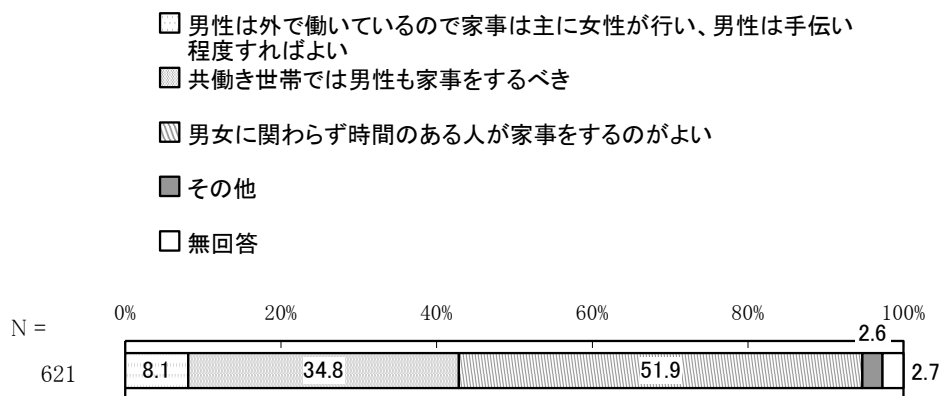
【前回調査】

前回調査と比較すると、男性で“賛成”の割合が増加しています。また、女性で“反対”の割合が減少しています。



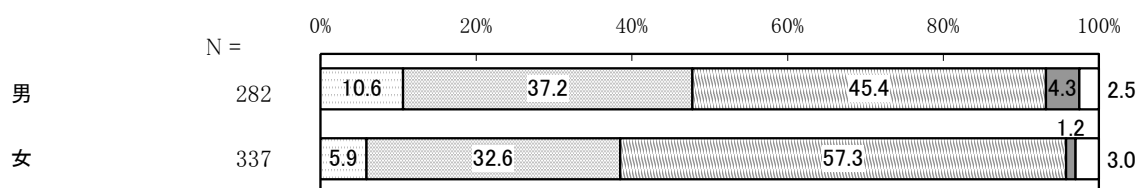
問 10 男性が家事をすることについてどう思いますか。1つ選んでください。

「男女に関わらず時間のある人が家事をするのがよい」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「共働き世帯では男性も家事をするべき」の割合が 34.8%となっています。



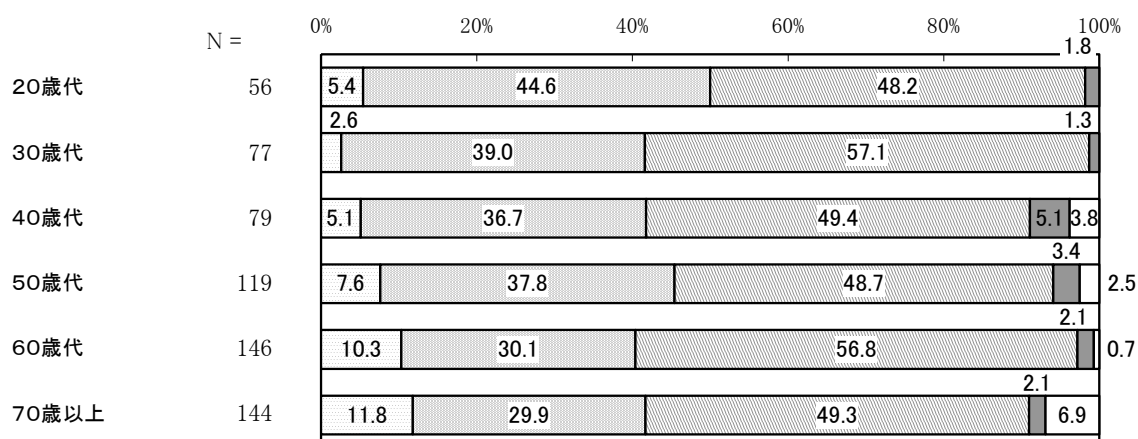
【性別】

性別でみると、男性より女性で「男女に関わらず時間のある人が家事をするのがよい」の割合が高くなっています。



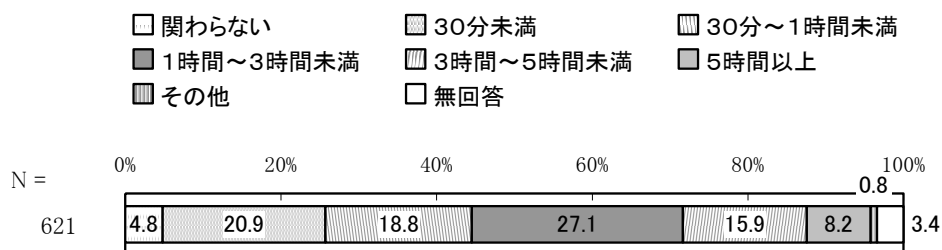
【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。



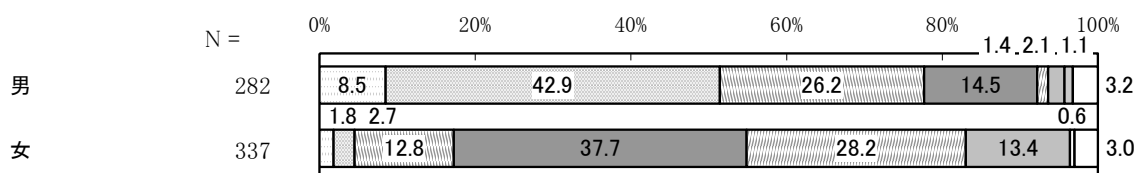
問 11 あなたが1日に家事に費やす時間はどのくらいありますか。

「1時間～3時間未満」の割合が27.1%と最も高く、次いで「30分未満」の割合が20.9%、「30分～1時間未満」の割合が18.8%となっています。



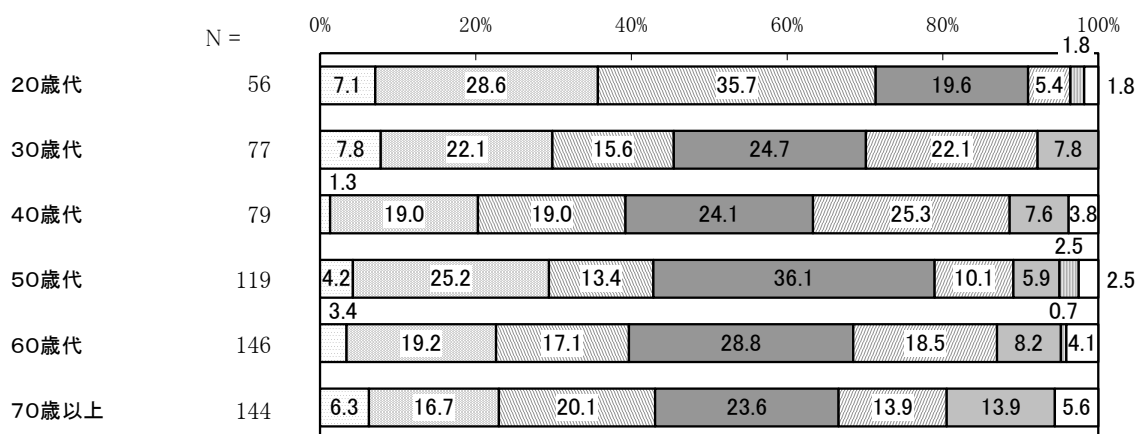
【性別】

性別でみると、女性より男性で「1時間未満」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「1時間以上」の割合が高くなっています。



【年齢別】

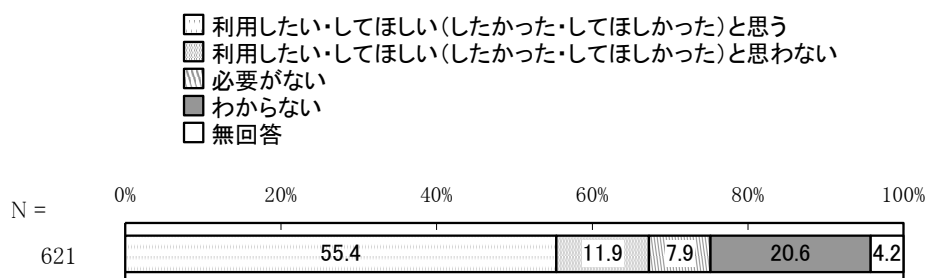
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「30分～1時間未満」の割合が高くなっています。また、50歳代で「1時間～3時間未満」の割合が高くなっています。



(5) 仕事と生活のバランスについて

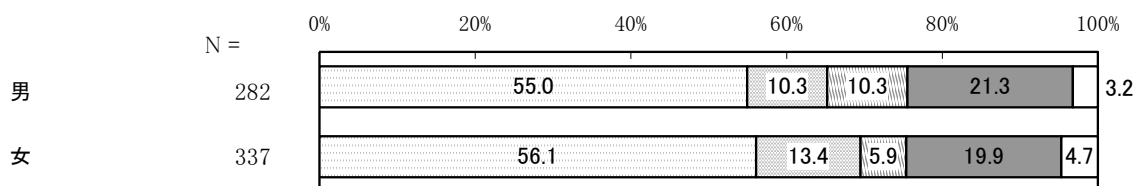
問 12 (1) 男性の育児休業利用についてはどう思いますか。

「利用したい・してほしい(したかった・してほしかった)と思う」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 20.6%、「利用したい・してほしい(したかった・してほしかった)と思わない」の割合が 11.9%となっています。



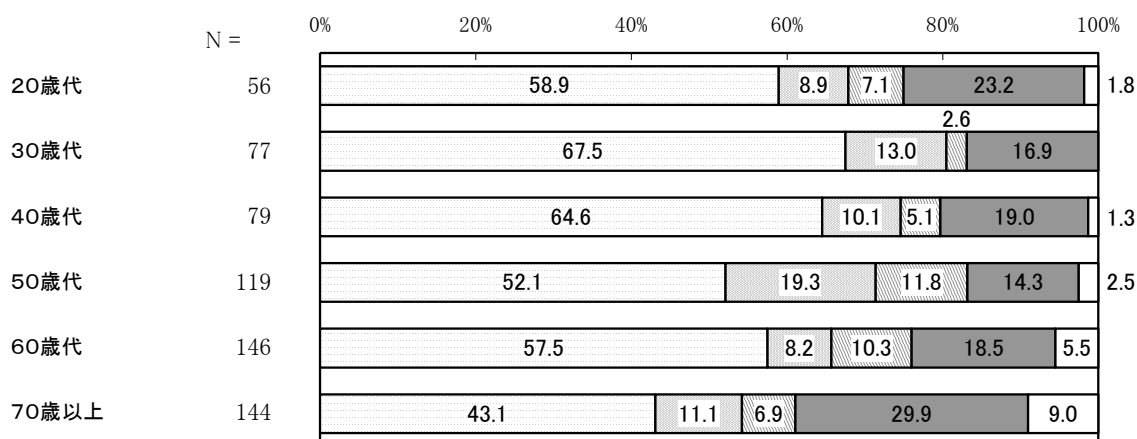
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



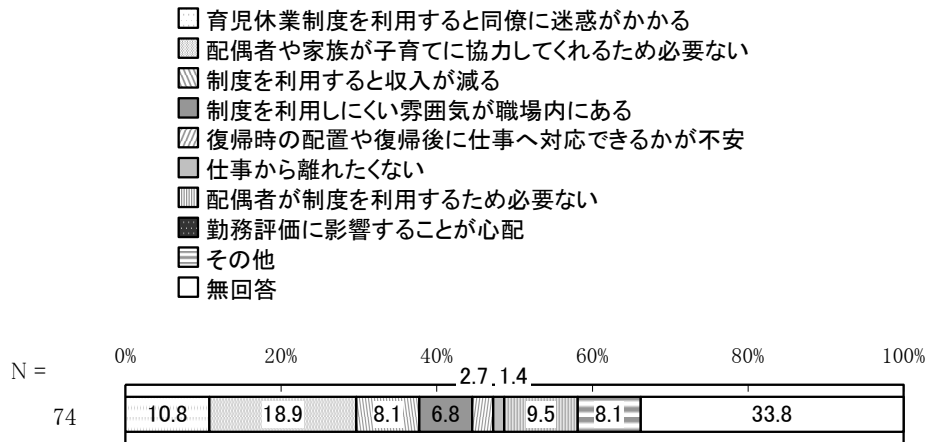
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代で「利用したい・してほしい(したかった・してほしかった)と思う」の割合が高くなっています。



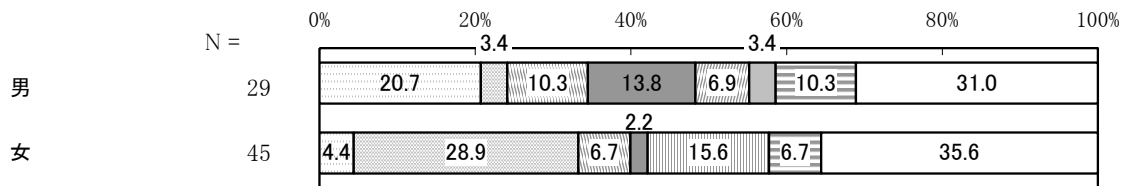
(2) 2の「利用したいと思わない」と答えた方、それはなぜですか？

「配偶者や家族が子育てに協力してくれるため必要ない」の割合が18.9%と最も高く、次いで「育児休業制度を利用すると同僚に迷惑がかかる」の割合が10.8%となっています。



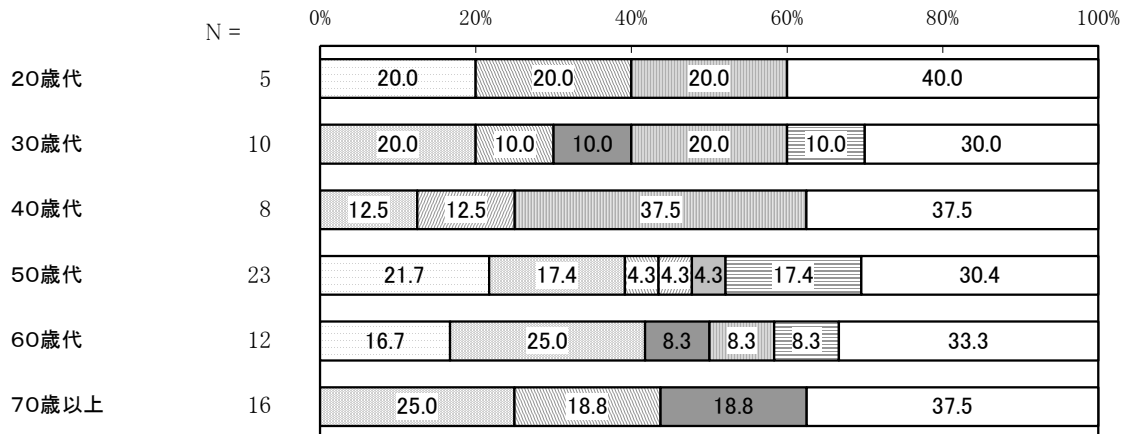
【性別】

性別でみると、女性より男性で「育児休業制度を利用すると同僚に迷惑がかかる」「配偶者や家族が子育てに協力してくれるため必要ない」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「配偶者や家族が子育てに協力してくれるため必要ない」「配偶者が制度を利用するため必要ない」の割合が高くなっています。



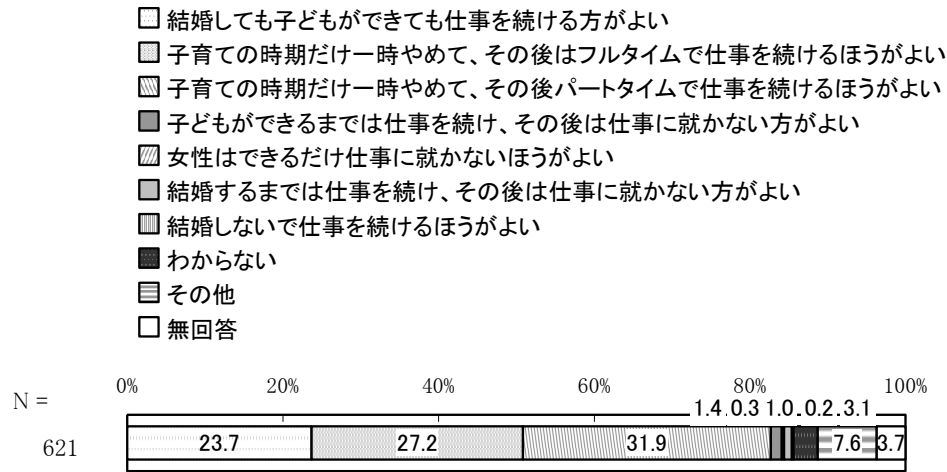
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「配偶者が制度を利用するため必要ない」の割合が高くなっています。



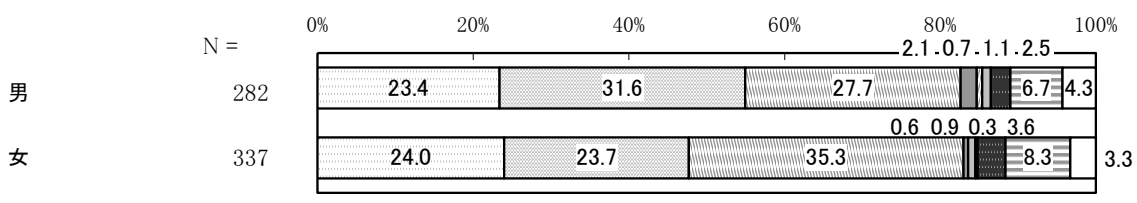
問 13 女性の就労のあり方について、あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

「子育ての時期だけ一時やめて、その後パートタイムで仕事を続けるほうがよい」の割合が31.9%と最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けるほうがよい」の割合が27.2%、「結婚しても子どもができてもしっかり仕事を続けるほうがよい」の割合が23.7%となっています。



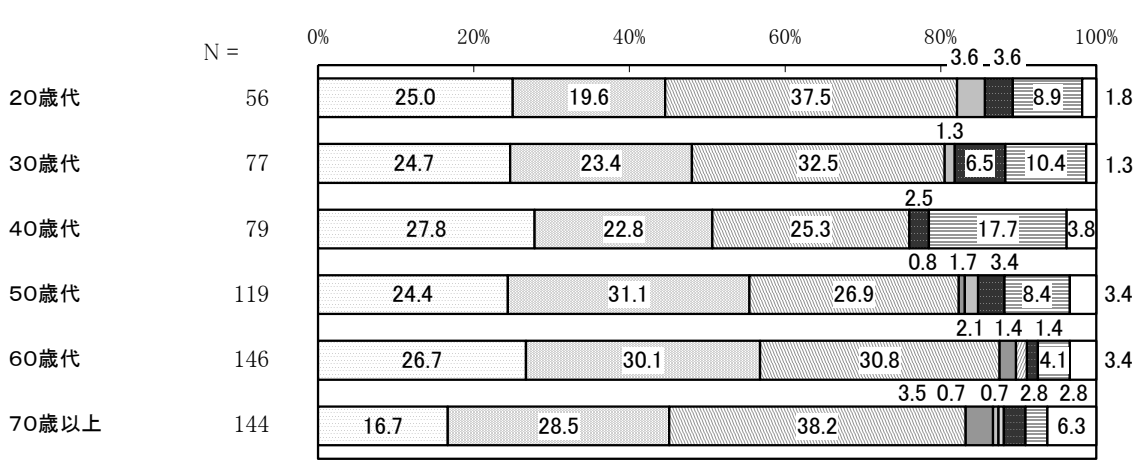
【性別】

性別でみると、女性より男性で「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続けるほうがよい」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「子育ての時期だけ一時やめて、その後パートタイムで仕事を続けるほうがよい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

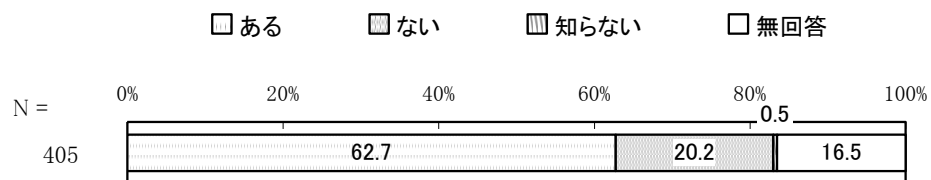
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「結婚しても子どもができてもしっかり仕事を続けるほうがよい」の割合が低くなっています



問 14 あなたの勤務する事業所には以下の制度がありますか。(該当する方のみ○をつけてください。)

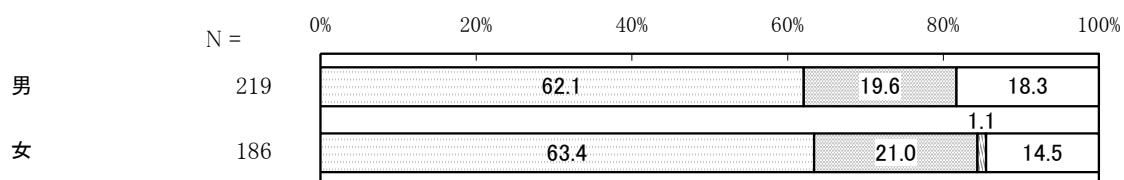
A 週休二日制

「ある」の割合が62.7%と最も高く、次いで「ない」の割合が20.2%となっています。



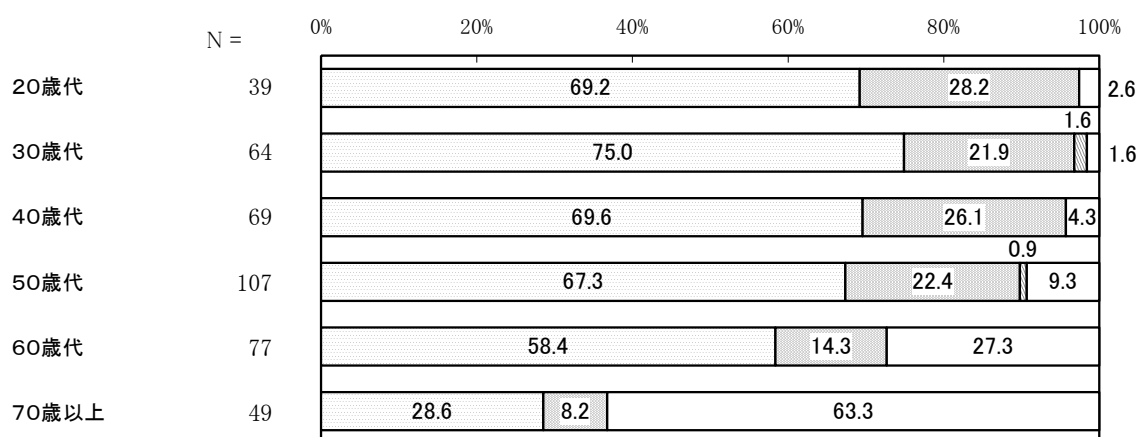
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



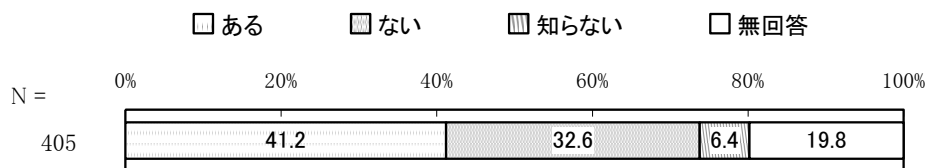
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「ある」の割合が高くなっています。



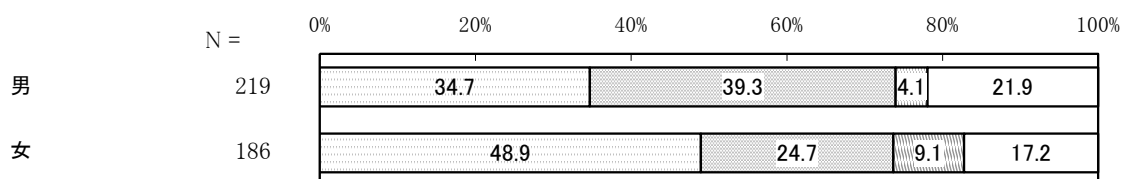
B 短時間勤務

「ある」の割合が41.2%と最も高く、次いで「ない」の割合が32.6%となっています。



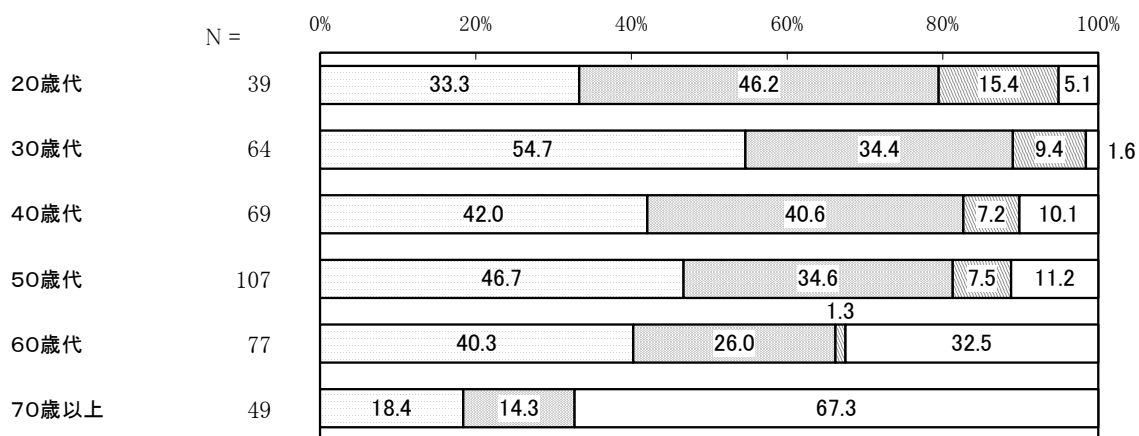
【性別】

性別で見ると、女性より男性で「ある」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「ない」の割合が高くなっています。



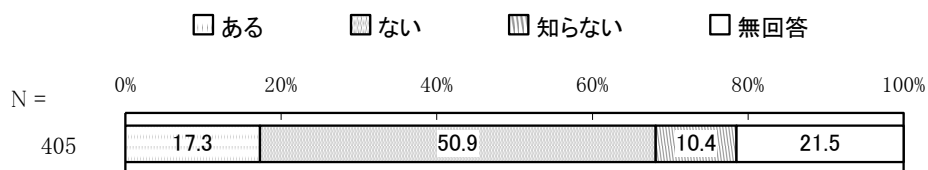
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「ある」の割合が高くなっています。



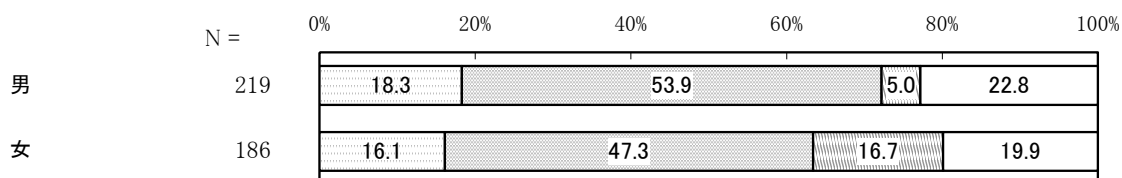
C フレックスタイム

「ない」の割合が50.9%と最も高く、次いで「ある」の割合が17.3%、「知らない」の割合が10.4%となっています。



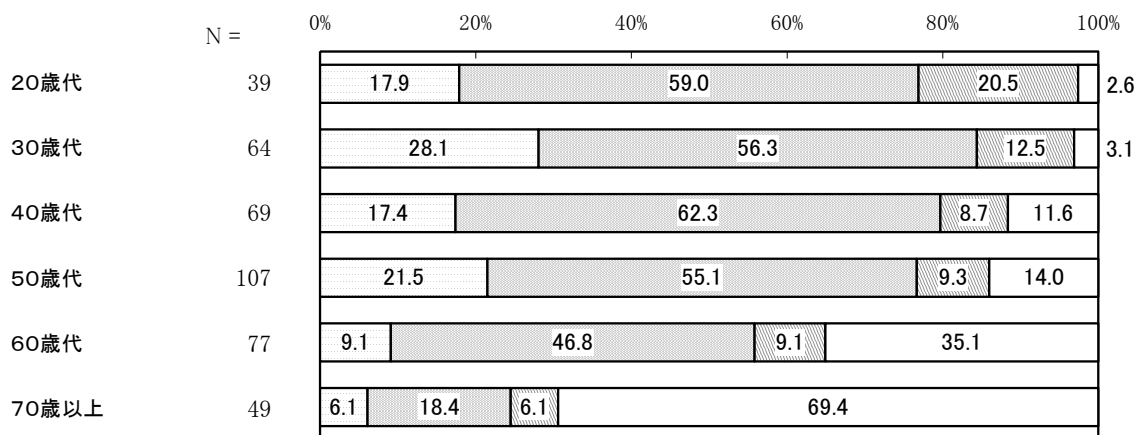
【性別】

性別で見ると、女性より男性で「ない」の割合が高くなっています。一方、女性より男性で「知らない」の割合が高くなっています。



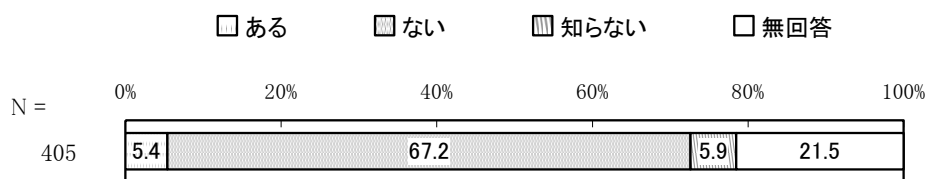
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「ある」の割合が高くなっています。



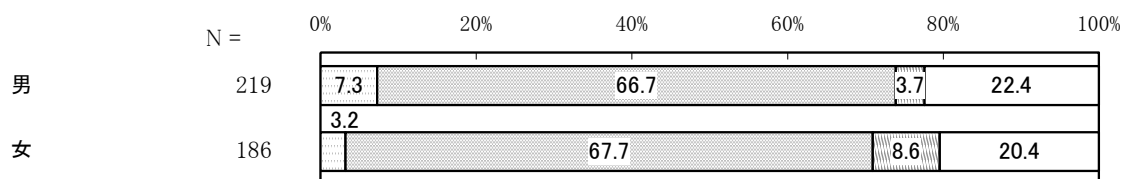
D 在宅勤務

「ない」の割合が67.2%と最も高くなっています。



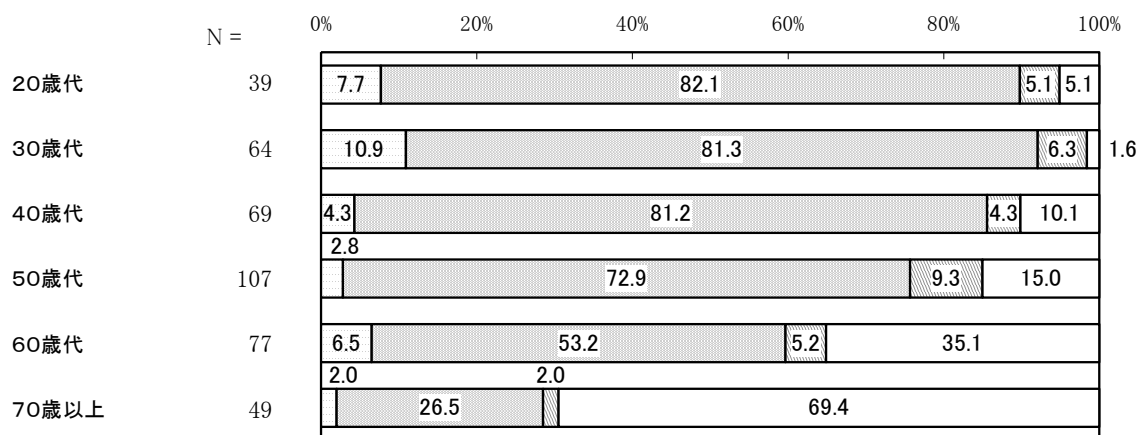
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



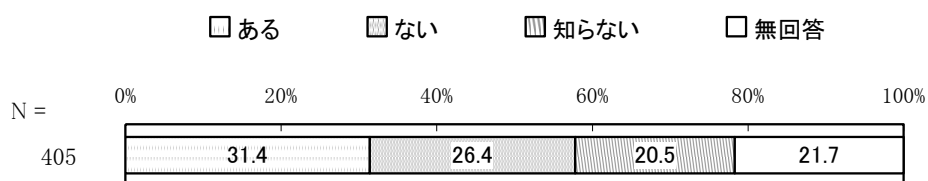
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「ない」の割合が低くなっています。



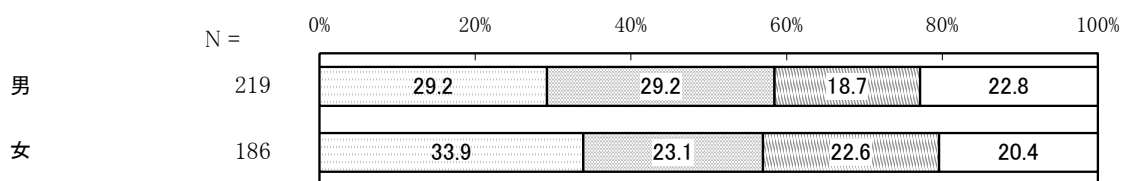
E 妊娠中の仕事の軽減

「ある」の割合が31.4%と最も高く、次いで「ない」の割合が26.4%、「知らない」の割合が20.5%となっています。



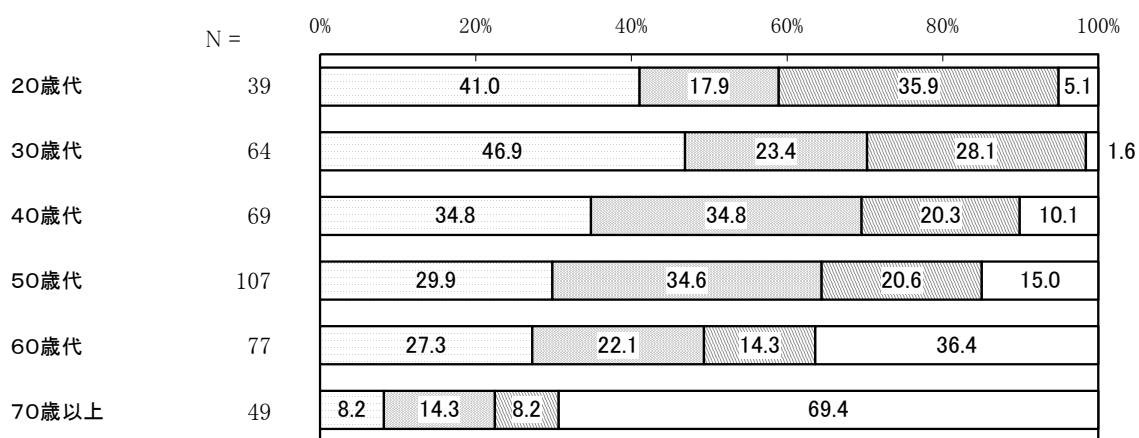
【性別】

性別でみると、女性より男性で「ない」の割合が高くなっています。



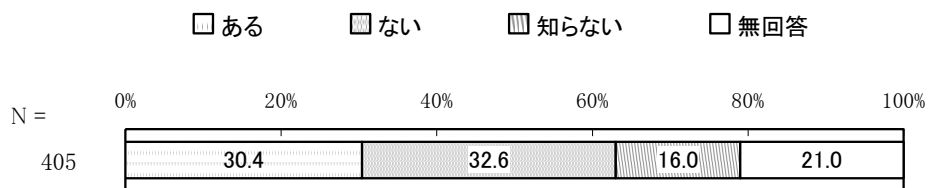
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「ある」の割合が高くなっています。



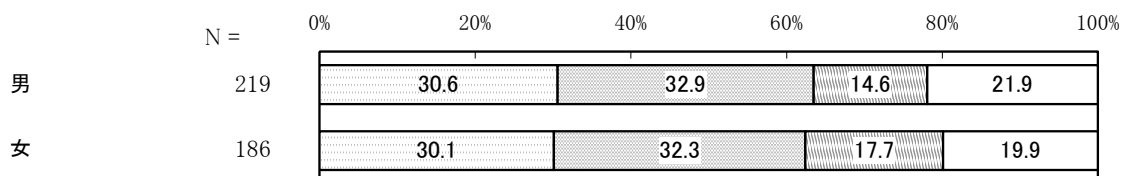
F セクシャル・ハラスメント相談

「ない」の割合が32.6%と最も高く、次いで「ある」の割合が30.4%、「知らない」の割合が16.0%となっています。



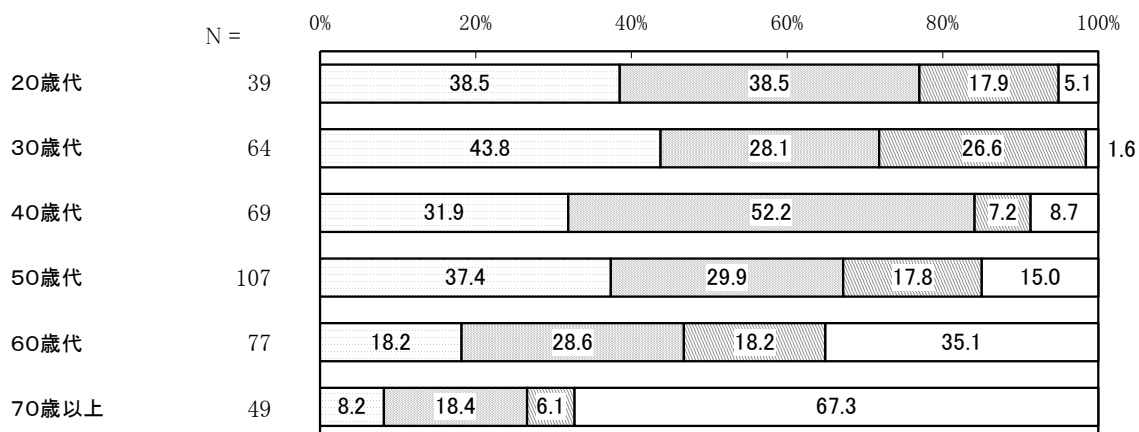
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



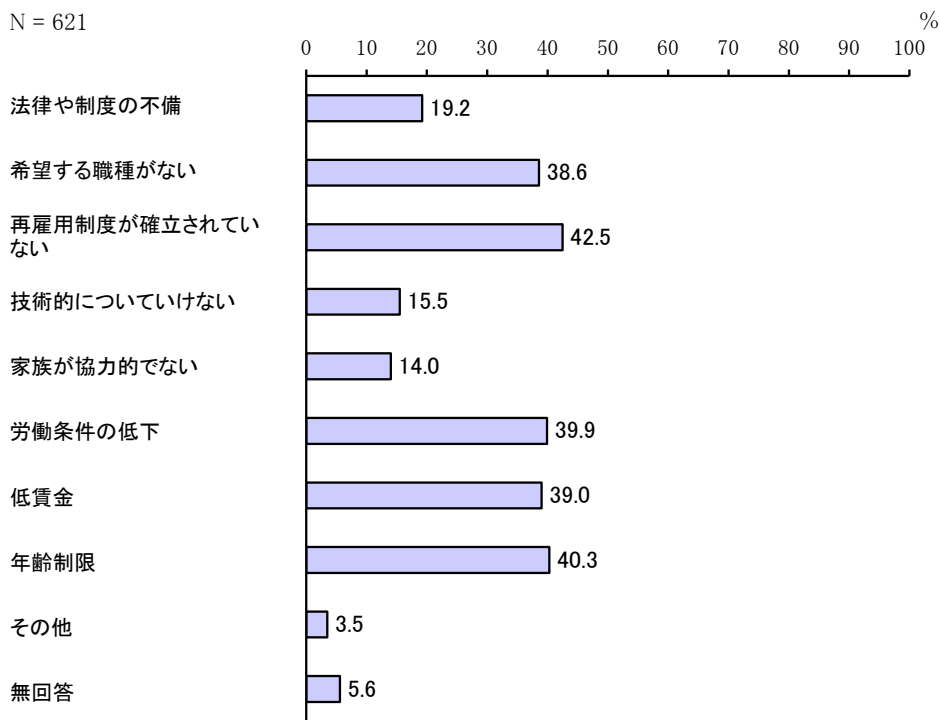
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、40歳代で「ない」の割合が高くなっています。



問 15 女性が再就職しようとする場合、どんなことが問題になると思いますか。3つまでお答えください

「再雇用制度が確立されていない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「年齢制限」の割合が40.3%、「労働条件の低下」の割合が39.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性より男性で「法律や制度の不備」「希望する職種がない」「再雇用制度が確立されていない」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「家族が協力的でない」「年齢制限」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	法律や制度の不備	希望する職種がない	再雇用制度が確立されていない	技術的についていけない	家族が協力的でない	労働条件の低下	低賃金	年齢制限	その他	無回答
男	282	23.4	41.5	50.7	13.8	8.9	37.9	41.1	27.7	3.2	5.7
女	337	15.7	36.5	35.9	16.9	18.4	41.8	37.4	51.0	3.9	5.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「家族が協力的でない」の割合が高くなっています。一方、20歳代で「年齢制限」の割合が低くなっています。

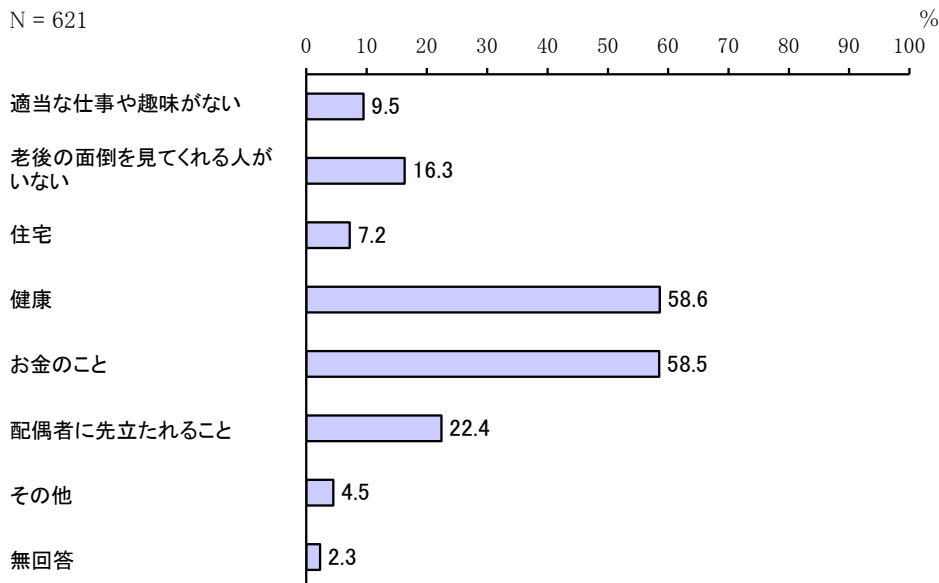
単位：％

区分	有効回答数(件)	法律や制度の不備	希望する職種がない	再雇用制度が確立されていない	技術的についていけない	家族が協力的でない	労働条件の低下	低賃金	年齢制限	その他	無回答
20歳代	56	21.4	32.1	44.6	8.9	14.3	48.2	44.6	17.9	8.9	1.8
30歳代	77	26.0	44.2	42.9	10.4	14.3	48.1	37.7	39.0	3.9	—
40歳代	79	15.2	34.2	43.0	24.1	25.3	38.0	39.2	48.1	6.3	2.5
50歳代	119	16.8	45.4	42.0	19.3	16.8	34.5	42.0	50.4	1.7	3.4
60歳代	146	19.2	39.7	45.9	12.3	8.9	44.5	36.3	41.8	1.4	5.5
70歳以上	144	18.8	34.0	38.2	16.0	10.4	33.3	37.5	35.4	3.5	13.9

(6) 高齢者等が安心して暮らせる環境について

4. あなたはご自分の老後の生活についてどんなことが不安ですか。2つまでお答えください。

「健康」の割合が58.6%と最も高く、次いで「お金のこと」の割合が58.5%、「配偶者に先立たれること」の割合が22.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性より男性で「老後の面倒を見てくれる人がいない」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「お金のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	適当な仕事や 趣味がない	老後の面倒を 見てくれる 人がいない	住宅	健康	お金の こと	配偶者に先 立たれること	その他	無回答
男	282	11.0	19.1	6.0	58.9	54.3	24.5	3.2	1.8
女	337	8.3	13.6	8.3	58.8	62.0	20.8	5.6	2.7

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「健康」の割合が高くなっています。また、20歳代、30歳代、40歳代で「お金のこと」の割合が高くなっています。

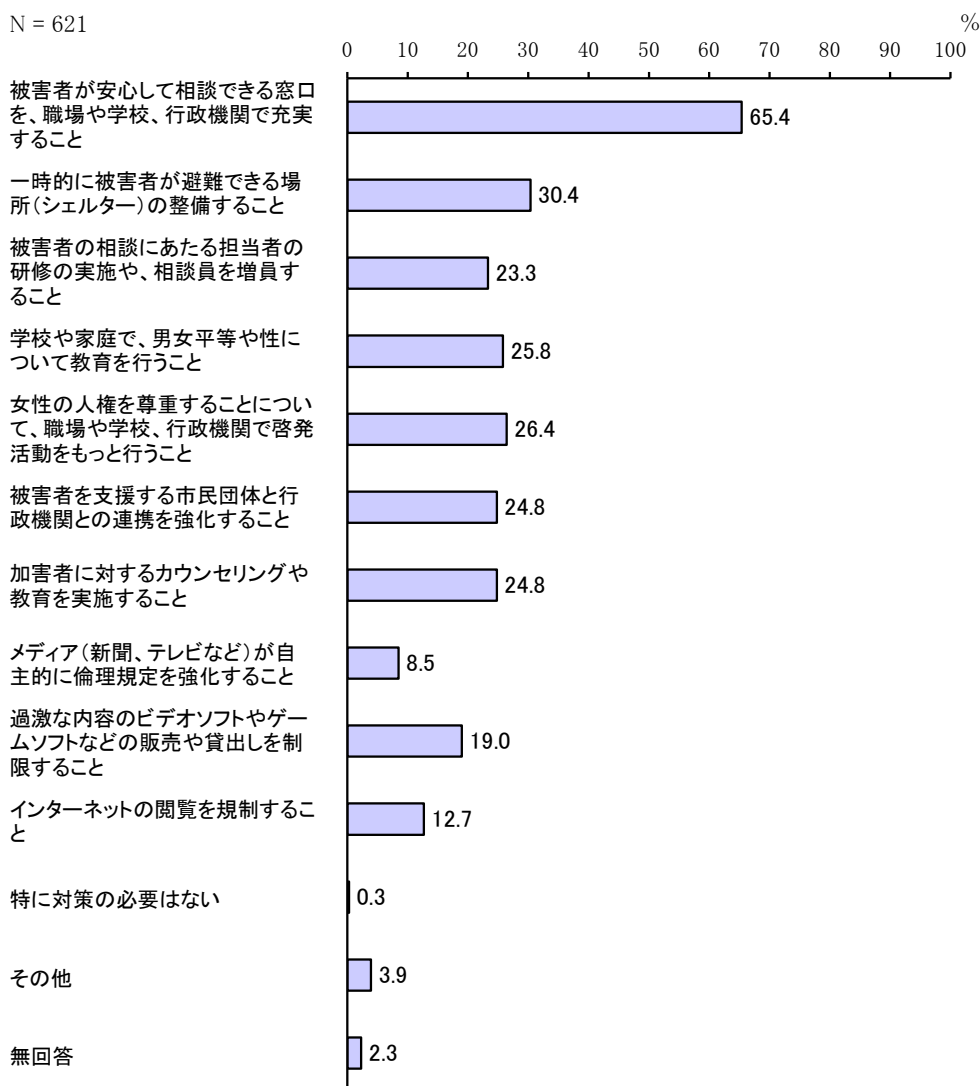
単位：％

区分	有効回答数 (件)	適当な仕事や 趣味がない	老後の面倒を 見てくれる 人がいない	住宅	健康	お金の こと	配偶者に先 立たれること	その他	無回答
20歳代	56	5.4	19.6	10.7	39.3	73.2	8.9	5.4	3.6
30歳代	77	13.0	11.7	7.8	48.1	81.8	20.8	1.3	2.6
40歳代	79	11.4	17.7	10.1	39.2	75.9	13.9	3.8	1.3
50歳代	119	16.0	16.8	7.6	54.6	63.9	13.4	5.9	0.8
60歳代	146	6.2	15.8	8.2	74.7	47.9	22.6	5.5	1.4
70歳以上	144	6.3	16.7	2.8	69.4	36.8	40.3	4.2	4.2

(7) 女性に対するあらゆる暴力の根絶について

問 17 性犯罪や夫婦間暴力、セクシャル・ハラスメントなど、女性に対する暴力への対策として、どのようなことが課題だと思いますか。

「被害者が安心して相談できる窓口を、職場や学校、行政機関で充実すること」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「一時的に被害者が避難できる場所（シェルター）の整備すること」の割合が 30.4%、「女性の人権を尊重することについて、職場や学校、行政機関で啓発活動をもっと行うこと」の割合が 26.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性より男性で「被害者が安心して相談できる窓口を、職場や学校、行政機関で充実すること」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「時的に被害者が避難できる場所（シェルター）の整備すること」「過激な内容のビデオソフトやゲームソフトなどの販売や貸出しを制限すること」「インターネットの閲覧を規制すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	被害者が安心して相談できる窓口を、職場や学校、行政機関で充実すること	一時的に被害者が避難できる場所（シェルター）の整備すること	被害者の相談にあたる担当者の研修の実施や、相談員を増員すること	学校や家庭で、男女平等や性について教育を行うこと	女性の人権を尊重することについて、職場や学校、行政機関で啓発活動をもっと行うこと	被害者を支援する市民団体と行政機関との連携を強化すること
男	282	68.4	26.2	20.9	27.0	29.1	26.2
女	337	62.6	34.1	25.5	24.3	24.3	23.7

区分	加害者に対するカウンセリングや教育を実施すること	メディア（新聞、テレビなど）が自主的に倫理規定を強化すること	過激な内容のビデオソフトやゲームソフトなどの販売や貸出しを制限すること	インターネットの閲覧を規制すること	特に対策の必要はない	その他	無回答
男	23.0	9.9	13.8	8.9	0.7	6.0	2.5
女	26.1	7.4	23.4	16.0	—	2.1	2.1

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代、70歳以上で「女性の人権を尊重することについて、職場や学校、行政機関で啓発活動をもっと行うこと」の割合が高くなっています。

単位：％

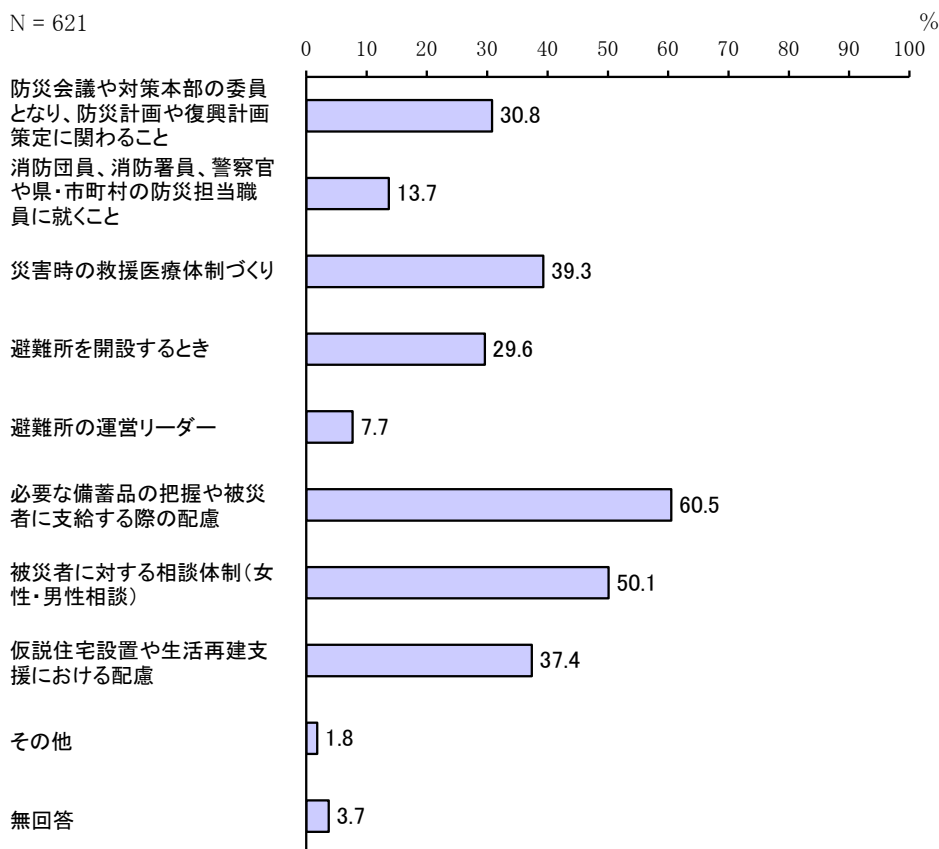
区分	有効回答数(件)	被害者が安心して相談できる窓口を、職場や学校、行政機関で充実すること	一時的に被害者が避難できる場所(シェルター)の整備すること	被害者の相談にあたる担当者の研修の実施や、相談員を増員すること	被害者の相談にあたる担当者の研修の実施や、相談員を増員すること	学校や家庭で、男女平等や性について教育を行うこと	女性の人権を尊重することについて、職場や学校、行政機関で啓発活動をもっと行うこと	被害者を支援する市民団体と行政機関との連携を強化すること
20歳代	56	62.5	35.7	28.6	30.4	17.9	25.0	
30歳代	77	59.7	40.3	27.3	26.0	19.5	26.0	
40歳代	79	60.8	41.8	25.3	26.6	20.3	27.8	
50歳代	119	64.7	31.9	20.2	22.7	31.1	21.8	
60歳代	146	67.8	24.0	22.6	27.4	25.3	22.6	
70歳以上	144	70.1	22.2	21.5	24.3	34.0	27.1	

区分	加害者に対するカウンセリングや教育を実施すること	メディア(新聞、テレビなど)が自主的に倫理規定を強化すること	過激な内容のビデオソフトやゲームソフトなどの販売や貸出しを制限すること	インターネットの閲覧を規制すること	特に対策の必要はない	その他	無回答
20歳代	19.6	8.9	8.9	5.4	—	3.6	3.6
30歳代	31.2	5.2	5.2	11.7	—	5.2	1.3
40歳代	32.9	6.3	12.7	10.1	1.3	6.3	—
50歳代	21.8	11.8	22.7	18.5	—	6.7	0.8
60歳代	26.7	8.2	22.6	15.1	—	2.1	2.7
70歳以上	19.4	9.0	27.1	10.4	0.7	1.4	4.2

(8) 防災における女性の関わりについて

問18 あなたは、防災・災害復興対策において、女性の視点をもっと必要などころはどこだと思いますか。あなたのお考えに最も近いと思うものをそれぞれ3つ選んで番号を記入してください。

「必要な備蓄品の把握や被災者に支給する際の配慮」の割合が60.5%と最も高く、次いで「被災者に対する相談体制（女性・男性相談）」の割合が50.1%、「災害時の救援医療体制づくり」の割合が39.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性より男性で「防災会議や対策本部の委員となり、防災計画や復興計画策定に関わること」「消防団員、消防署員、警察官や県・市町村の防災担当職員に就くこと」「避難所を開設するとき」「避難所の運営リーダー」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「必要な備蓄品の把握や被災者に支給する際の配慮」「仮説住宅設置や生活再建支援における配慮」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	防災会議や対策本部の委員となり、防災計画や復興計画策定に関わること	消防団員、消防署員、警察官や県・市町村の防災担当職員に就くこと	災害時の救援医療体制づくり	避難所を開設するとき	避難所の運営リーダー	必要な備蓄品の把握や被災者に支給する際の配慮	被災者に対する相談体制（女性・男性相談）	仮説住宅設置や生活再建支援における配慮	その他	無回答
男	282	42.2	19.1	38.3	32.6	13.1	50.7	48.6	26.2	1.1	3.5
女	337	21.1	9.2	40.1	27.3	3.3	69.1	51.6	46.9	2.4	3.6

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「消防団員、消防署員、警察官や県・市町村の防災担当職員に就くこと」の割合が高くなっています。また、40歳代で「被災者に対する相談体制（女性・男性相談）」の割合が高くなっています。

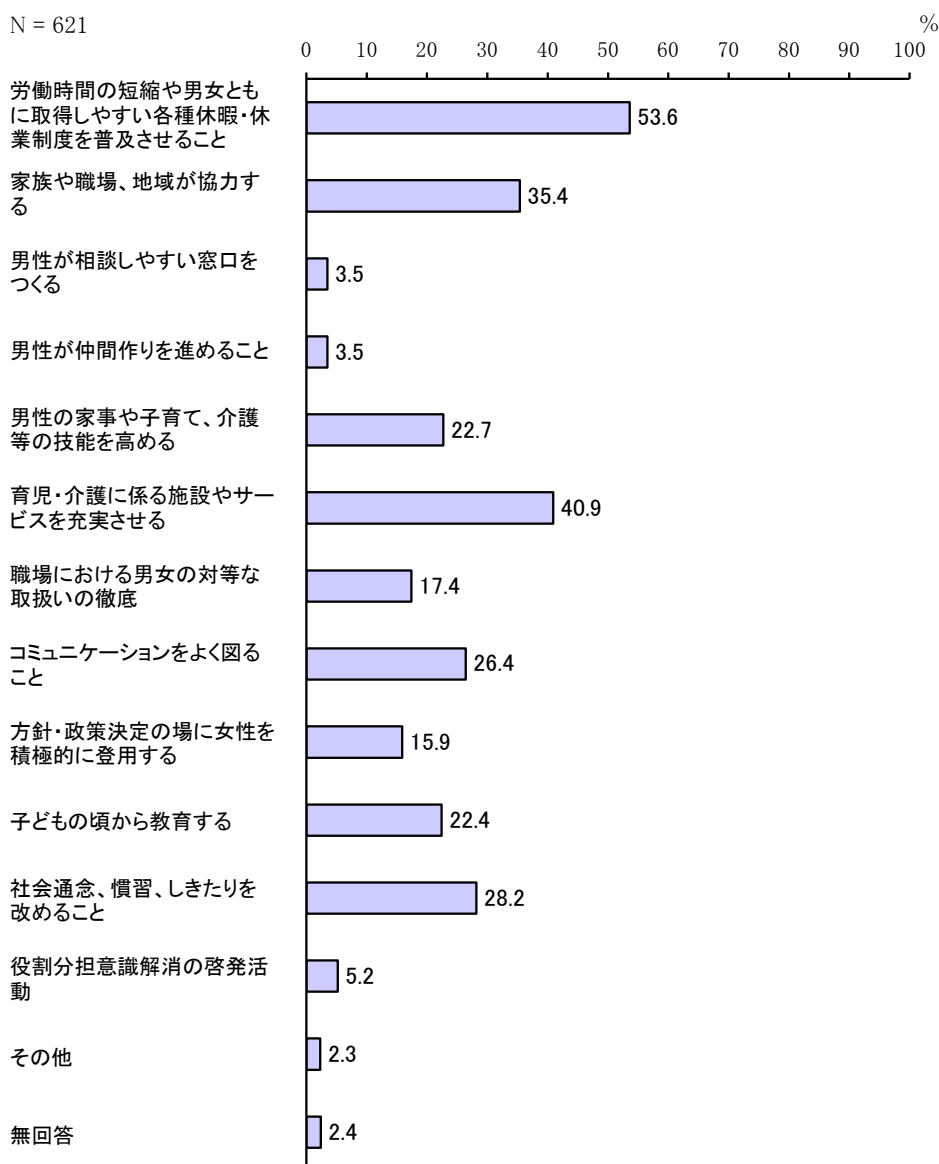
単位：％

区分	有効回答数（件）	防災会議や対策本部の委員となり、防災計画や復興計画策定に関わること	消防団員、消防署員、警察官や県・市町村の防災担当職員に就くこと	災害時の救援医療体制づくり	避難所を開設するとき	避難所の運営リーダー	必要な備蓄品の把握や被災者に支給する際の配慮	被災者に対する相談体制（女性・男性相談）	仮説住宅設置や生活再建支援における配慮	その他	無回答
20歳代	56	23.2	12.5	53.6	25.0	5.4	64.3	41.1	39.3	1.8	1.8
30歳代	77	32.5	15.6	28.6	27.3	6.5	70.1	48.1	36.4	1.3	3.9
40歳代	79	30.4	10.1	31.6	34.2	3.8	57.0	60.8	40.5	5.1	1.3
50歳代	119	37.0	22.7	32.8	32.8	11.8	58.8	47.1	38.7	0.8	1.7
60歳代	146	27.4	11.0	43.2	31.5	8.9	62.3	49.3	39.0	1.4	4.1
70歳以上	144	31.3	10.4	45.1	25.7	6.9	55.6	52.1	32.6	1.4	6.9

(9) 社会における参画について

問 19 今後、女性と男性がともに職場、家庭、地域活動等へ参加していくためにはどのようなことが重要だと思いますか。3つまでお答えください

「労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を普及させること」の割合が53.6%と最も高く、次いで「育児・介護に係る施設やサービスを充実させる」の割合が40.9%、「家族や職場、地域が協力する」の割合が35.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性より男性で「家族や職場、地域が協力する」「方針・政策決定の場に女性を積極的に登用する」の割合が高くなっています。一方、男性より女性で「男性の家事や子育て、介護等の技能を高める」「育児・介護に係る施設やサービスを充実させる」「コミュニケーションをよく図ること」「子どもの頃から教育する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を普及させること	家族や職場、地域が協力する	男性が相談しやすい窓口をつくる	男性が仲間作りを進めること	男性の家事や子育て、介護等の技能を高める	育児・介護に係る施設やサービスを充実させる	職場における男女の対等な取扱いの徹底
男	282	52.1	39.7	4.3	3.5	18.8	37.6	17.7
女	337	55.2	32.0	3.0	3.6	26.1	43.9	17.2

区分	コミュニケーションをよく図ること	方針・政策決定の場に女性を積極的に登用する	子どもの頃から教育する	社会通念、慣習、しきたりを改めること	役割分担意識解消の啓発活動	その他	無回答
男	23.4	20.9	19.1	30.5	3.5	3.2	2.1
女	29.1	11.9	25.2	26.4	6.5	1.5	2.1

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代、30歳代で「労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を普及させること」の割合が高くなっています。一方、20歳代で「社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	労働時間の短縮や男女ともに取得しやすい各種休暇・休業制度を普及させること	家族や職場、地域が協力する	男性が相談しやすい窓口をつくる	男性が仲間作りを進めること	男性の家事や子育て、介護等の技能を高める	育児・介護に係る施設やサービスを充実させる	職場における男女の対等な取扱いの徹底
20歳代	56	71.4	39.3	3.6	3.6	14.3	35.7	26.8
30歳代	77	67.5	26.0	6.5	3.9	22.1	32.5	18.2
40歳代	79	58.2	36.7	1.3	3.8	15.2	39.2	13.9
50歳代	119	52.9	31.9	1.7	1.7	20.2	49.6	20.2
60歳代	146	48.6	37.7	2.7	5.5	26.7	45.2	13.7
70歳以上	144	42.4	38.9	5.6	2.8	28.5	36.8	16.7

区分	コミュニケーションをよく図ること	方針・政策的に登用する女性を積極的に登用する	子どもの頃から教育する	社会通念、慣習、しきたりを改めること	役割分担意識解消の啓発活動	その他	無回答
20歳代	32.1	10.7	14.3	16.1	—	1.8	1.8
30歳代	32.5	11.7	20.8	29.9	3.9	2.6	1.3
40歳代	26.6	12.7	24.1	38.0	10.1	3.8	—
50歳代	23.5	19.3	26.9	31.1	5.0	1.7	—
60歳代	27.4	19.2	22.6	26.0	4.8	0.7	2.7
70歳以上	22.2	16.0	21.5	26.4	5.6	3.5	6.3